

2012

4

目次
CONTENTS

- | | | | |
|----|-----------------------------|----|--------------------------------|
| 2 | 平成24年度市長施政方針 | 22 | 那珂市すべての家庭に住宅用火災警報器の設置が義務化されました |
| 8 | 平成24年度那珂市予算 | 24 | コンビニで市税等が納付できるようになります |
| 12 | 議会 第1回定例会 | 26 | 平成24年度那珂市まちづくり出前講座をご利用ください |
| 15 | 那珂市経営戦略会議
那珂市地域公共交通会議 ほか | 28 | 那珂市内放射線量の測定状況 |
| 16 | 行政組織が変わります | 30 | まちの話題 |
| 18 | 介護保険料の改定をお知らせします | 32 | Information ほか |
| 20 | 市立幼稚園・小中学校施設の耐震診断の結果を公表します | 36 | さわやかさん、表紙の裏側 ほか |



たくさんの思い出、忘れないよ（芳野幼稚園卒園式）

平成24年度

市長施政方針

平成24年第1回那珂市議会定例会が、3月12日から開催され、海野市長が平成24年度の施政方針を表明しました。以下、施政方針の内容についてお知らせします。

平成24年度那珂市一般会計をはじめ、各特別会計および水道事業会計の当初予算のご審議をお願いするに当たり、市政運営の基本方針と新年度における主要な施策の概要を申し上げ、議員各位ならびに市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から一年が経過しました。

ここに改めて、亡くなられたかたがたに対し、心から哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に対し、心からお見舞いを申し上げます。

那珂市では、震度6強の地震に見舞われ、市内各所に甚大な被害を受けました。このため、昨年7月に那珂市東日本大震災復旧方針を策定し、復旧に努めてまいりました。平成24年度には新たに復興計画等を含めた那珂市東日本大震災復旧・復興方針に基づき、本市が一日も早く震災前の姿に戻れるよう引き続き全力を傾注してまいります。

さて、我が国の経済状況ですが、



■施政方針を述べる海野市長

円高による経済の低迷や雇用悪化、ギリシャ・イタリアを上回る国の債務など、多くの問題が山積しており、先行きが一段と深刻かつ不透明になってきております。

また、市町村を取り巻く環境も、地方分権の進展や少子高齢化の急速な進行、行政ニーズの多様化、財政

状況の悪化などにより大きく変化しております。本市におきましては、東日本大震災からの復興や防災計画の見直し、原発再稼働をどうするかなど、急を要する多くの課題も抱えております。

このような中、私たち市町村は、地域住民に最も身近な基礎自治体と

して、これらの社会環境の変化や行政課題に対し、的確かつ迅速な対応を図り、質の高い行政サービスを継続して提供していくとともに、新たな行政サービスの拡充に努めてまいります。

平成24年度につきましては、行政組織を再編し、危機管理体制と情報発信力の強化を図り、政策形成能力を高めるとともに、行政サービスの向上を図ってまいりたいと考えております。さらに、平成25年度から平成29年度までのまちづくりの指針となる「第1次那珂市総合計画」の後期基本計画を策定する予定であります。策定に当たりましては、今回の震災の経験と反省を踏まえ、「市民が安全で安心して暮らせる住みよいまちづくり」のため、効果的で効率的な実効性の高い施策を盛り込みたいと考えております。

以上、市政運営の基本的な考え方について申し上げます。

次に、平成24年度当初予算の概要について申し上げます。

平成24年度の当初予算につきましては、東日本大震災からの復興に向け必要となる事業を最優先に配分するとともに、不妊治療費の助成や事業仕分けの実施など公約として掲げた政策についても積極的に盛り込むことに努めたところであります。まず歳入では、国の地方財政対策により地方交付税については増額、また財源対策の地方債については前年度同水準の額が見込まれるものの、収入の根幹となる市税が、東日本大震災の影響から前年より大幅に減少することから、財政調整基金等からの繰入金を増額し、歳出では高水準で推移する扶助費や公債費など依然として厳しい財政状況が続く中、財源の重点的かつ効率的な配分に努めた予算編成を行いました。その結果、一般会計については前年度対比0・1%増の170億円を計上しました。

また、国民健康保険特別会計（事業勘定）をはじめとする8つの特別会計の総額は、前年度比11・5%増の124億7845万円となりました。一般会計と特別会計の総額は、294億7845万円となり、前年度の当初予算対比では4・6%、13億300万円の増額となりました。

水道事業会計につきましては、収益的収入が前年度比0・3%減の11

億1631万3千円、収益的支出が前年度比0・9%減の11億737万1千円、資本的収入が前年度比2・8%増の8184万6千円、資本的支出が14・4%減の4億4307万9千円となりました

次に、重点的に取り組む主要施策の概要につきまして、第1次那珂市総合計画に掲げる施策体系に沿って申し上げます。

1 市民との協働のまちづくり

【広報事業】につきましては、市民の皆様へ親しまれる広報紙を目指し、今後も市の話題や情報について、読みやすく分かりやすい紙面づくりに努めてまいります。また、市民生活に必要な行政情報と地域情報を合わせた総合地域情報誌「那珂市くらしの便利帳」を官民協働事業として発行してまいります。さらに、最新の行政情報を市のホームページに掲載するとともに、利用者の意見も取り入れながら、一層の充実を図ってまいります。

【広聴事業】につきましては、市民相談室の窓口をはじめ、市民ボックスや提案メールなどにより、広く意見聴取の充実を図るとともに、引き続きパブリックコメントを実施してまいります。また、市民との対話や意

見交換を行うため、平成23年度から実施している「市長と話そうふれあい座談会」を引き続き実施し、市民ニーズに対応した市政運営に努めてまいります。



◆市内各地区において、「市長と話そうふれあい座談会」を実施しています。

2 安全で快適な住みよいまちづくり

【市民とともに創る協働のまちづくり】につきましては、新たな市民自治組織に移行して1年が経過したことから、さらに各地区まちづくり委員会や各自治会、市民活動団体などとの連携を強化し、地域コミュニティの活性化を目指してまいります。

【男女共同参画推進事業】につきましては、那珂市男女共同参画プラン実施計画の改定時期であることから、必要な見直しを行います。

【消防行政】につきましては、西消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新し、消防力を向上させるとともに、住宅用火災警報器の設置推進および大規模店舗や不特定多数の出入りする施設、危険物施設等への立入検査により防火安全対策を促進してまいります。また、防火管理者の育成指導を行い、各事業所の防火意識や消防設備の維持管理能力の向上に努めてまいります。

【救急業務】につきましては、救急救命士を計画的に養成し、救急処置技術の向上を図るとともに、応急手当に関する正しい知識やAEDの普及啓発に努め、救命率の向上を図ってまいります。

【消防団】につきましては、地域防災力の要として機能が十分発揮できるよう、9分団27部から8分団24部に消防団の再編を行ってまいります。

【防災】につきましては、東日本大震災を検証・総括した上で、災害に強いまちづくりを推進するため、那珂市地域防災計画の見直しに取り組んでまいります。特に他県の市町村との災害時相互応援協定の締結を推進するとともに、県内の事業所などとの災害時応援協定の締結についても進めてまいります。また、自主防災組織の設立を引き続き推進するとともに、防災訓練を実施するなど、防災意識の高揚と災害時における市民の生命・財産の安全確保に努めてまいります。

【原子力の安全対策】につきましては、福島第一原子力発電所の事故により放出された放射線の空間線量を測定するため、市民へ放射線測定器の貸出を引き続き実施するとともに、学校給食に使用する食材や市内で生産された農作物の放射能測定についても、引き続き実施してまいります。また、東海第二原子力発電所の運転再開問題については、国、県および近隣市町村の動向を注視しながら、市民の意を尊重し判断をしてまいります。

【市民の安全・安心対策】につきましては、地域における自主防犯組織の設立に向け、引き続き促進してまい

ります。また、「犯罪のない安全安心のまちづくり」への取り組みとして、警察や防犯協会などと連携した防犯パトロールの充実を図るとともに、地域と一体となった防犯活動を進めてまいります。

【消費生活行政】につきましては、安心した生活が送れるよう積極的な啓発を行うとともに、相談機能の充実を図ってまいります。また、出前講座の開催により、消費者被害の未然防止を引き続き図ってまいります。

【交通安全対策】につきましては、警察および関係団体と協力し、「交通事故防止運動」を展開し、高齢者の死亡事故や自転車乗車中の事故などの防止に努めてまいります。また、飲酒運転や夜間の交通事故などの防止を呼びかける広報啓発活動を実施し、交通マナーの向上を図るとともに、高齢者や児童・生徒などを重点に交通安全教育を実施してまいります。

【環境行政】につきましては、那珂市環境基本計画が平成24年度で推進期間の最終年度となるため、計画の成果を検証・総括した上で、新たな基本計画の策定に取り組んでまいります。また、各地区まちづくり委員会を通じて自治会に呼びかけを行い、引き続き不法投棄の監視の強化に努めてまいります。さらに、市の広報紙やホームページなどにより啓発を行ない、市民の皆様には壁面緑化

の推進についての協力をお願いするとともに、瓜連支所や消防本部、学童保育所などの市の施設においても引き続き取り組んでまいります。

【市道整備】につきましては、生活道路としての利便性の向上と安全な交通環境の確保を図るため、緊急性と必要性を考慮しながら地域の要望を総合的に勘案し、道路の新設や改良、維持補修を重点的に実施し、舗装率の向上に努めてまいります。また、東日本大震災により、被害を受けた土木施設の早急な復旧・復興を図ってまいります。

【公共交通】につきましては、日常において移動手段を持たない高齢者などの日常生活の利便性を確保するため、JR水郡線および路線バスの維持・確保に向けた施策を進めてまいります。また、補完交通として市が運行している「ひまわりバス」の運行ルート変更や運行ダイヤ見直しを行い、さらなる利便性の向上を図ってまいります。さらに、市の実情に即した持続可能な公共交通体系を構築するため那珂市地域公共交通連携計画を策定し、デマンド交通導入に向けた調査・検討を行ってまいります。

【地籍調査事業】につきましては、下江戸（Ⅱ）地区および門部（Ⅲ）地区の成果の閲覧と認証の作業を行うとともに、下江戸（Ⅲ）地区0・71平方キロメートルおよび北酒出（Ⅰ）

地区0・73平方キロメートルの長狭物・一筆地の調査を実施してまいります。

【都市計画道路菅谷・市毛線（第3期、延長1300メートル）、上宿・大木内線（延長440メートル）、下菅谷地区まちづくり事業（区画道路延長1040メートル）および上菅谷駅前地区土地区画整理事業】につきましては、引き続き計画的な整備を進めてまいります。また、社会資本整備総合交付金事業として菅谷地区まちづくり事業を平成24年度に着手してまいります。

【木造住宅耐震化促進事業】につきましては、那珂市耐震改修促進計画に基づき、旧耐震基準で建築された住宅（昭和56年5月31日以前着工の木造住宅）に対して、補強設計および耐震改修工事に要する費用の補助を行い耐震化の促進を図ってまいります。

【上水道事業】につきましては、安全かつ安定した水の供給を図るため、既存施設の適正な維持管理に努めるとともに、老朽化した木崎浄水場の改修に向け、用地整備や実施設計などを進めてまいります。また、下水道の復旧に伴う配水管移設工事を行うとともに、幹線配水管の整備および老朽管更新を引き続き実施してまいります。さらに、東日本大震災により延期した向山保登内地区の平成25年度給水区域編入に向け準備を進

めてまいります。

【排水路整備事業】につきましては、両宮排水路の未整備区間である市街化調整区域内菅谷・飯田線上流部の一部区間および市街化区域内上宿・大木内線下流区間の整備を実施し、大雨などによる冠水被害を防止するため早期完成を目指し進めてまいります。

【公共下水道事業】につきましては、下菅谷地区、横堀地区、向山地区、寄居地区および認可拡大地区の汚水管布設工事を行い、引き続き快適で衛生的な生活環境の整備に努めてまいります。また、東日本大震災による公共下水道管路施設復旧工事の平成24年度内工事完了に向け、最善を尽くしてまいります。

【農業集落排水整備事業】につきましては、鴻巣地区Ⅰ期区域が供用を開始しましたので、鴻巣地区Ⅱ期区域においても、早期の農村環境の改善を図るため、管路布設工事を進めてまいります。

【合併処理浄化槽の設置】につきましては、公共下水道事業および農業集落排水整備事業の認可区域以外の区域において、引き続き補助を行ってまいります。

3 健やかで生きがいをもって暮らせるまちづくり

【地域福祉】につきましては、那珂市地域福祉計画に基づき、市社会福祉協議会や民生委員・児童委員などの関係機関との連携をさらに強化し、互いに助け支え合う地域社会の構築を目指してまいります。

【生活保護】につきましては、生活保護制度に基づく保護費の適正化を進めるとともに、受給者の自立のための就労支援などに努めてまいります。

【高齢者福祉】につきましては、那珂市高齢者保健福祉計画に基づき、高齢者の自立支援と尊厳の保持を基本に、高齢者が可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、市地域包括支援センターや市社会福祉協議会等の関係機関と緊密に連携を図り、介護予防事業の効果的な実施や地域包括ケアの推進、介護保険事業の円滑な運営など高齢者の保健・福祉・介護施策について、総合的かつ計画的に取り組んでまいります。

【障がい者福祉】につきましては、那珂市障がい者プランに基づき、障がい者が地域において暮らしやすいまちを目指すとともに、引き続き障害福祉サービスなどの計画的な整備と提供に努めてまいります。

【子育て支援】につきましては、那珂市次世代育成支援対策行動計画に基づき、地域コミュニティによる子育て支援の推進に努めてまいります。また、家庭児童相談室では、児童虐待や母子家庭の自立等に関する相談の充実を図るため、家庭相談員および母子自立支援員を配置し、児童相談所等の関係機関とも連携を密にし、迅速かつ適切な対応に努めてまいります。

【子育て支援センター】につきましては、在宅の乳幼児に対する子育て支援の中核施設として、子育て不安の解消を図るため、ノーバディズ・パークフェクト（完璧な親などいない）・プログラムなどの親支援事業を引き続き行ってまいります。また、子育てサークルの支援および子育て情報発信の充実に努めてまいります。

【保育所】につきましては、安心して子どもを預けられる保育環境の整備に努めるとともに、多様な保育ニーズに応えるため、新たに病児保育事業を実施することにより、保護者の子育てと就労の両立を支援し、児童の健全育成に努めてまいります。また、菅谷保育所における休日保育についても検討してまいります。

【成人保健】につきましては、生活習慣病の予防を促すために、引き続き特定健康診査および特定保健指導の受診率向上に努めるとともに、未受

診者対策を重点に実施してまいります。

【母子保健】につきましては、関係機関との連携により、乳幼児期における相談・健診事業の充実に努めてまいります。

【予防接種事業】につきましては、予防接種法に基づく定期接種の勧奨を行い、疾病のまん延防止に努めるとともに、子宮頸がんワクチン接種については、中学1年生を対象に実施してまいります。また、平成23年度から実施している乳幼児を対象の細菌性髄膜炎などの発症を予防する肺炎球菌ワクチンおよびヒブワクチンの他、新たにおたふくかぜおよび水ぼうそうの予防ワクチンを加え、接種費用の助成をしております。

【妊婦健診】につきましては、引き続き健康な子どもを安心して出産できる支援体制の強化を図ってまいります。また、新規事業として、不妊治療を受けているかたの経済的負担を軽減するために、県補助金に乗せして助成してまいります。



4 豊かな心と文化を育む 教育のまちづくり

【学校教育】につきましては、個性と創造性を育む学校教育の充実を図ることを目標に、児童・生徒の基礎的・基本的な知識と技能の修得に努めるとともに、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の育成を図ってまいります。そのため、引き続き小・中学校へTT非常勤講師やALT、障害児学習指導員などを配置するとともに、市独自で中学校2・3年生は、35人学級を実施し、きめ細かな指導をより充実させてまいります。また、教職員を対象とした教科研修や特別支援教育研修、生徒指導研修等を実施し、教員の指導力の向上に努めてまいります。さらに、学校生活への悩みを持つ児童・生徒および保護者への教育相談機能を充実させるために、教育支援センターにおいて相談窓口を開設し、心の教室相談員やスクールカウンセラーなどによる指導・支援を行ってまいります。また、児童のより良い教育環境を充実させるため、那珂市小中学校適正規模化基本計画に基づき、適正規模化推進校においては、学校再編に向けて地域の皆様と十分に協議を進めてまいります。

【幼児教育】につきましては、那珂市幼稚園教育振興計画に基づき、特別支援教育の充実や預かり保育、就園

奨励費などの支援を継続し、幼稚園教育の充実を努めてまいります。

【学校施設】につきましては、安全・安心で快適な教育環境づくりを推進するため、災害時の避難場所としても活用される屋内運動場や校舎の耐震補強工事を進めてまいります。また、引き続き東日本大震災により被害を受けた学校施設の復旧に取り組んでまいります。

【青少年健全育成】につきましては、家庭・学校・地域の連携をより一層深め、子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進してまいります。また、どつきん土曜日開放講座開設事業をふるさと教室開設事業に統合し、小学生低学年の体験事業の充実に努めてまいります。

【中央公民館】につきましては、各区まちづくり委員会との連携を図るとともに、市民の意見を反映した講座の充実や自主事業の積極的な展開など、多様化する市民ニーズに対応してまいります。

【市立図書館】につきましては、生涯学習の身近な拠点として、子供からお年寄りまで世代の枠にとらわれない読書環境の整備に努めてまいります。また、那珂市読書推進計画に基づき、ボランティア活動および図書館サービスの充実を図ってまいります。

【歴史遺産・伝統文化】につきましては、歴史民俗資料館を拠点として季

節展、企画展および市史編さん事業の充実を努めてまいります。また、市民と行政の協働による額田城跡の保存管理をはじめ諸歴史遺産の保存活動を進めてまいります。

【スポーツ推進】につきましては、那珂市スポーツ振興基本計画に基づき、生涯にわたるスポーツの振興を図るとともに、総合型地域スポーツクラブ「ひまわりスポーツクラブ」を支援してまいります。また、体育協会の50周年記念事業の実施について協力してまいります。

【国際交流】につきましては、市国際交流協会と連携し、異なる文化や生活習慣を互いに理解しあえる交流活動の推進に努めるとともに、国際親善姉妹都市であるアメリカ合衆国テネシー州オークリッジ市と中学生ホームステイ交換交流を実施するなど、引き続き相互親善を深めてまいります。

【市民交流事業】につきましては、秋田県横手市との友好関係をより一層深めるため、情報の提供と市民および市民団体の交流活動を支援してまいります。

5 活力があり賑わいのある まちづくり

引き続き実施してまいります。

【農業振興】につきましては、農業経営の改善を図るため営農指導者による営農相談や営農指導などを行い、新たな作物の研究およびほしいもの普及促進を図るとともに、認定農業者などの担い手の育成と中小農家に対する支援を実施してまいります。また、定年帰農者や新規就農者などを対象とした講座をJAひたちなかや県等の関係機関と連携して開催してまいります。

【遊休農地】の対策につきましては、農地利用集積に関する事業を活用し、農業委員会など関係機関と協力して耕作放棄地の解消に向け取り組んでまいります。

【水田対策事業】につきましては、農業者戸別所得補償制度の周知および制度への参加を促すとともに、自給率向上のため大豆や麦など戦略作物の生産拡大および米の需給調整を関係機関と推進してまいります。

【商工業の振興】につきましては、現況調査を実施して中小企業者等の実態把握に努めるとともに、那珂市商業振興計画に基づき、地域商業者の活性化に向けた取り組みを推進していくほか、自治・振興金融制度により事業資金の融資支援を行ってまいります。

【農業農村整備事業】につきましては、は、県営事業を有ヶ池地区、下坏地区、芳野地区および南酒出地区で引

【企業誘致】につきましては、固定資産税の優遇措置を行うとともに、県や関係機関と協力を図りながら、トップセールスにより積極的に取り組み、雇用と税収の確保を図ってまいります。

【観光振興】につきましては、市の歴史や文化、自然、農業などの資源の保全と活用の調和を図りながら那珂市観光振興計画を策定してまいります。また、民間活力を主導とした八重桜まつりやひまわりフェスティバルなどの開催、さらには周辺市町村と連携した誘客に取り組むなど、市観光協会との連携による積極的なPR活動を実施し、地域の活性化を図ってまいります。



◆昨年度のひまわりフェスティバルの様子

6

行財政運営の効率化による自立したまちづくり

【行財政改革】につきましては、第2次那珂市行政改革大綱および那珂市財政健全化プランに基づき、引き続き計画的かつ積極的に取り組んでまいります。また、平成24年度から市民が判定人として参加する事業仕分けを取り入れ、事務事業をゼロペーソで見直すとともに、開かれた市政運営を推進してまいります。

【職員研修】につきましては、那珂市人材育成基本方針に基づき、引き続きそれぞれの役職階層において求められる知識や能力を養うとともに、政策形成能力や行政経営能力、危機管理能力等、専門的な能力の開発などをを行い、職員一人ひとりの意識改革と資質の向上に努めてまいります。

【人事評価制度】につきましては、平成23年度からの管理職を対象とした試行の結果を十分精査し、制度の構築に向け検討を進めてまいります。【職員数】につきましては、第2次那珂市行政改革大綱に基づき、今後の定年退職者の大幅な増加を勘案しながら採用計画を検討し、引き続き定員管理の適正化を図ってまいります。

【窓口業務の日曜開庁】につきましては、市民生活の利便性の確保および市民顧客主義の観点に基づき平成23

年9月から実施してまいりました。今後は、実施による効果を検証しながら、さらなる住民サービスの向上に向け検討・改善に努めてまいります。



◆市民課窓口において日曜開庁を行っています。

【戸籍住民基本台帳事務】につきましては、住民基本台帳法の改正により、平成24年7月から外国人の住民票が作成されることに伴い、住民基本台帳システムなどの必要な改修を行ってまいります。

【茨城県からの事務権限の移譲】につきましては、「まちづくり特例市」の指定に伴う権限移譲がおおむね終了しましたが、今後も地域主権一括法などにより一層の権限移譲が積極的に進められることから、これらに対応するため組織体制の柔軟な見直しを行うとともに、地方分権の趣旨を踏まえ、住民に最も身近な基礎自治体としてふさわしいまちづくりに向け、主体的に取り組んでまいります。

以上、平成24年度の市政運営に当たっての基本的な考え方と主要施策の概要について申し上げますが、平成24年度は大変厳しい財政事情の中で、小中学校の耐震補強事業や東日本大震災からの復旧・復興に向けた事業も加速して進めていかなければなりません。また、前段で申し上げましたとおり、第1次那珂市総合計画の後期基本計画を策定するという、今後のまちづくりを進めるうえで重要な年であります。

東日本大震災は、筆舌に尽くせぬ辛く悲しい出来事でしたが、我々人類は、現在まで様々な自然災害に遭遇しながらも、生き抜くための知恵を身に付けてきました。『災い転じて福と為す』という言葉もあります。大変厳しい平成24年度の市政運営となりますが、必ず乗り越えられると信じております。

那珂市の輝く未来のため、今後とも市民の声に謙虚に耳を傾け、市民の皆様が真の豊かさを実感していただけるようなまちづくりに、全力を挙げて取り組んでまいります。

議員各位ならびに市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成24年3月12日

那珂市長 海野 徹

平成24年度 那珂市予算

問い合わせ

財政課財政グループ

☎ 298-1111 (内線522)

平成24年度の那珂市予算は、歳入では国の地方財政対策により地方交付税については増額、また財源対策の地方債については前年度同水準の額が見込まれるものの、収入の根幹となる市税が東日本大震災の影響から前年より大幅に減少することから、財政調整基金等からの繰入金を増額し、一方で、歳出では高水準で推移する扶助費や公債費等により依然として厳しい財政状況が続く中、歳入に見合った歳出の原則に立ちつつも、震災からの復興に向け必要となる事業を中心に、財源の重点的かつ効率的な配分に努めた予算編成を行いました。

その結果、一般会計については前年度比0.1%増の170億円、特別会計については前年度比11.5%増の124億7,845万円となりました。

(表1参照)

■表1 平成24年度会計別予算額

単位：千円

会計名	24年度 予算額(A)	23年度 予算額(B)	増減率 (A)/(B)
一般会計	17,000,000	16,980,000	0.1%
特別会計	12,478,450	11,195,450	11.5%
国民健康保険(事業勘定)	5,189,000	5,110,000	1.5%
下水道事業	2,104,000	1,589,000	32.4%
公園墓地事業	11,000	12,000	△8.3%
農業集落排水整備事業	804,000	436,000	84.4%
介護保険(保険事業勘定)	3,722,000	3,442,000	8.1%
上菅谷駅前地区土地区画整理事業	195,000	165,000	18.2%
後期高齢者医療	453,000	441,000	2.7%
那珂地方公平委員会	450	450	0.0%
合計	29,478,450	28,175,450	4.6%

一般会計

一般会計の歳入のうち最も大きな割合を占める市税は、東日本大震災による個人所得の減少や資産評価額の影響等により大幅に減額が見込まれることから、前年度に比べ7.8%の減収を見込む一方、地方交付税については地方財政計画の特別枠「地域経済基盤強化・雇用等対策費」の創設や市税の減収分等を考慮し、前年度に比べ6.5%の増額を見込みました。

これらの結果、市が自らの手で確保できる自主財源は78億6,423万5千円で、歳入全体に占める割合は46.3%となりました。これに対し、国や県から決められた額を交付されたり、割り当てられたりする依存財源は91億3,576万5千円で、歳入全体の53.7%となりました。

(表2、図1参照)

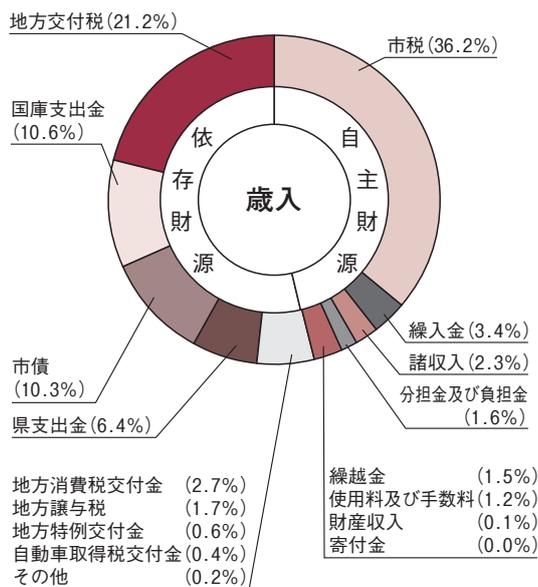
■表2 平成24年度一般会計歳入予算

単位：千円

区分	24年度 予算額(A)	構成比	23年度 予算額(B)	増減率 (A)/(B)
自主財源	7,864,235	46.3%	8,073,028	△2.6%
市税	6,164,186	36.2%	6,683,428	△7.8%
分担金及び負担金	267,082	1.6%	284,966	△6.3%
使用料及び手数料	203,098	1.2%	203,094	0.0%
財産収入	11,348	0.1%	10,893	4.2%
寄付金	3	0.0%	2	50.0%
繰入金	584,621	3.4%	238,121	145.5%
繰越金	250,000	1.5%	250,000	0.0%
諸収入	383,897	2.3%	402,524	△4.6%
依存財源	9,135,765	53.7%	8,906,972	2.6%
地方譲与税	292,000	1.7%	294,300	△0.8%
地方消費税交付金	452,861	2.7%	450,180	0.6%
自動車取得税交付金	62,000	0.4%	55,000	12.7%
地方特例交付金	28,800	0.2%	100,236	△71.3%
地方交付税	3,610,000	21.2%	3,390,000	6.5%
国庫支出金	1,806,177	10.6%	1,824,494	△1.0%
県支出金	1,090,578	6.4%	1,130,599	△3.5%
市債	1,753,979	10.3%	1,618,566	8.4%
その他 ※	39,370	0.2%	43,597	△9.7%
合計	17,000,000	100.0%	16,980,000	0.1%

※ 利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、ゴルフ場利用税交付金、交通安全対策特別交付金

【図1】



◆市税 61億6,418万6千円 (7.8%減)

市の歳入の根幹をなすもので、市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税等があります。

市税は、平成21年度から4年続けての減少となる見込みです。市民税は、東日本大震災の影響により個人所得の減少等が見込まれることから前年度に比べ3.8%減少し25億8,842万6千円、固定資産税は、家屋が東日本大震災による評価額の減額等が見込まれることから前年度に比べ12.1%減少し28億2,746万2千円等を見込みました。

◆繰入金 5億8,462万1千円 (145.5%増)

一般会計、特別会計および基金の間で相互に資金運用をすることがあり、その資金を繰入金とといいます。

財源不足を補うための繰入金は、財政調整基金から2億6,000万円、減債基金から2億円、公共施設整備基金から2,000万円、茨城県市町村復興まちづくり支援事業に伴う新設の震災復興まちづくり基金から9,600万円等を見込みました。他会計からの繰入金は、公園墓地事業特別会計から550万円等を見込みました。

◆地方交付税 36億1,000万円 (6.5%増)

国税のうち所得税、法人税、酒税、消費税およびたばこ税のそれぞれ一定割合を財源とし、地方公共団体が等しくその行うべき事務を遂行することができるよう、一定の基準により国から地方公共団体に交付されるもので、普通交付税と特別交付税があります。

普通交付税は、国の地方財政計画の増減率を踏まえ、「地域経済基盤強化・雇用等対策費」の創設や基準財政収入額における個人市民税および固定資産税の大幅な減収による影響額等を考慮して、前年度に比べ6.9%増加し34億1,000万円、特別交付税は、過去の収入実績等を考慮して、前年度同額の2億円を見込みました。

◆国庫支出金 18億617万7千円 (1.0%減)

国と地方公共団体の経費負担区分に基づき、国から地方公共団体に交付されるもので、負担金、委託金、特定の施設の奨励又は財政援助のための補助金等があります。

民生費国庫負担金では、障害福祉サービス給付事業負担金に3億301万4千円、子ども手当関係負担金に6億5,680万円、生活保護費負担金に3億2,687万1千円、民生費国庫補助金では、地域生活支援事業補助金に2,063万円、衛生費国庫補助金では、合併処理浄化槽設置整備事業補助金に1,381万3千円、土木費国庫補助金では、狭あい道路や街路等を整備するため社会資本整備総合交付金に2億2,980万円等を見込みました。

◆市債 17億5,397万9千円 (8.4%増)

耐用年数が長期にわたる公共施設の建設事業を実施する際の財源等として、その年度の収入のほかに国や民間の金融機関から資金を借り入れるもので、市の借金にあたります。

後年度の元利償還金の7割が普通交付税で措置される合併特例債を中心に、災害援護資金貸付金債に1,050万円、農業生産基盤整備事業債に1,500万円、市道整備事業債に1億1,430万円、両宮排水路整備事業債に1億5,240万円、まちづくり交付金事業債に2億8,840万円、菅谷市毛線街路整備事業債に2,340万円、下菅谷地区まちづくり幹線道路整備事業債に3,610万円、上宿大木内線街路整備事業債に3,510万円、常備消防車両整備事業債に4,290万円を見込みました。

また、地方交付税の財源不足を補う臨時財政対策債(赤字地方債)は、国の地方財政計画の増減率を踏まえ、10億3,587万9千円を見込みました。

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般会計から分離して別に収支経理を行う会計です。

前年度と比べ増加率が大きな会計としては、下水道事業特別会計が、向山・笠松・寄居・下菅谷地区における管渠布設工事等の公共下水道整備事業費の増額を見込んで前年度比32.4%増の21億400万円、農業集落排水整備事業特別会計が、鴻巣地区における管路工事等の農業集落排水整備事業費の増額を見込んで前年度比84.4%増の8億400万円となりました。(表1参照)

水道事業会計

■表3 平成24年度水道事業会計予算額

単位：千円

区分	24年度予算額 (A)	23年度予算額 (B)	増減率 (A)/(B)	
収益的収支	収入	1,116,315	1,120,026	△0.3%
	支出	1,107,371	1,117,230	△0.9%
資本的収支	収入	81,846	79,580	2.8%
	支出	443,079	517,400	△14.4%

市の水道事業は、民間企業と同様に企業会計が導入されており、独立採算で運営しています。

本年度は、浄水施設の更新に向けた実施設計をはじめ、主な建設改良事業として配水施設工事費2億5,668万円を予定しており、配水管布設、老朽管更新、消火栓設置等を行うとともに、施設の維持管理を強化して安定給水に努めます。(表3参照)

歳出

一般会計の歳出のうち扶助費については、生活保護扶助費や子ども手当支給事業の減等により前年度に比べ2.3%の減額を見込む一方、普通建設事業費については前年度に比べ15.6%の増額を見込み、加えて震災により前年度に実施できなかった事業については一部繰越しすることで、復旧復興に向けた実質的な事業費を大幅に拡充しています。

これらの結果、法令等によりその支出が義務づけられている義務的経費は前年度から1.1%減少し、歳出全体に占める割合は54.1%となりました。これに対し、道路や学校の建設等社会資本の整備に要する経費である投資的経費は前年度から15.7%増加し、歳出全体に占める割合は7.5%となりました。(表4、図2参照)

■表4 平成24年度一般会計歳出予算 <性質別>

単位:千円

区分	24年度 予算額(A)	構成比	23年度 予算額(B)	増減率 (A)/(B)
義務的経費	9,187,064	54.1%	9,290,030	△1.1%
人件費	4,178,030	24.6%	4,194,976	△0.4%
扶助費	2,977,214	17.5%	3,048,375	△2.3%
公債費	2,031,820	12.0%	2,046,679	△0.7%
投資的経費	1,274,727	7.5%	1,101,986	15.7%
普通建設事業費	1,274,409	7.5%	1,101,976	15.6%
補助事業費	433,307	2.6%	102,139	324.2%
単独事業費	841,102	4.9%	999,837	△15.9%
災害復旧事業費	318	0.0%	10	3,080.0%
その他の経費	6,538,209	38.4%	6,587,984	△0.8%
物件費	2,748,516	16.2%	2,752,552	△0.1%
維持補修費	228,265	1.3%	237,760	△4.0%
補助費等	1,619,706	9.5%	1,641,209	△1.3%
繰出金	1,888,401	11.1%	1,919,064	△1.6%
その他 ※	53,321	0.3%	37,399	42.6%
合計	17,000,000	100.0%	16,980,000	0.1%

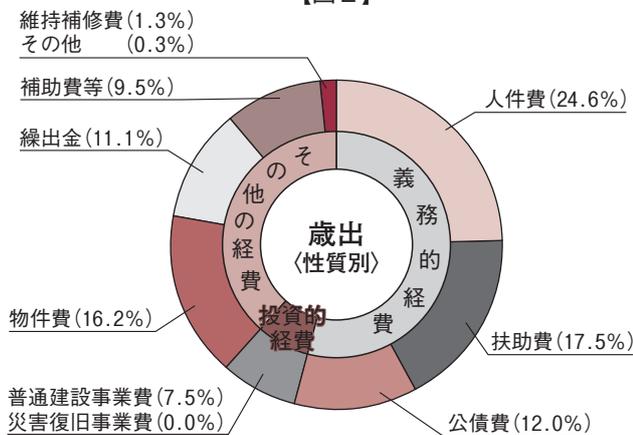
■表5 平成24年度一般会計歳出予算 <目的別>

単位:千円

区分	24年度 予算額(A)	構成比	23年度 予算額(B)	増減率 (A)/(B)
議会費	233,270	1.4%	288,135	△19.0%
総務費	2,270,305	13.4%	2,194,533	3.5%
民生費	5,361,501	31.5%	5,383,687	△0.4%
衛生費	1,204,138	7.0%	1,315,450	△8.5%
農林水産業費	649,611	3.8%	739,822	△12.2%
商工費	181,870	1.1%	190,085	△4.3%
土木費	2,286,163	13.5%	2,231,918	2.4%
消防費	951,926	5.6%	861,133	10.5%
教育費	1,809,072	10.7%	1,713,542	5.6%
災害復旧費	318	0.0%	10	3,080.0%
公債費	2,031,821	11.9%	2,046,680	△0.7%
諸支出金	5	0.0%	5	0.0%
予備費	20,000	0.1%	15,000	33.3%
合計	17,000,000	100.0%	16,980,000	0.1%

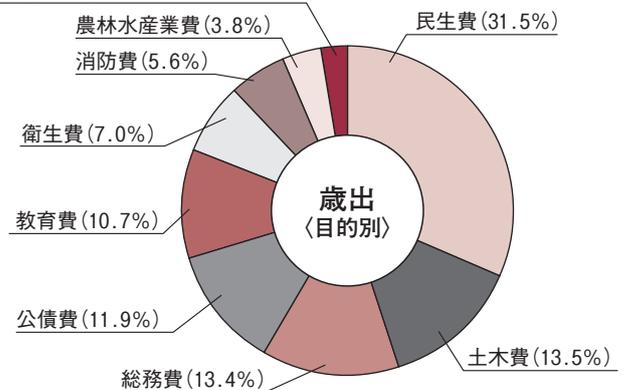
※積立金、投資および出資金、貸付金、予備費

【図2】



議会費(1.4%) 災害復旧費(0.0%)
商工費(1.1%) 諸支出金(0.0%)
予備費(0.1%)

【図3】



市民一人当たりの予算額

民生費	高齢者や障がい者の福祉、子育て支援、生活保護などに	95,983円
土木費	道路の整備、河川、公園および市営住宅の管理などに	40,927円
総務費	全般的な管理事務などに	40,643円
公債費	市債の返済に	36,374円
教育費	学校教育や生涯学習の充実、文化・スポーツの振興などに	32,386円
衛生費	病気予防や健康増進、火葬場斎場の運営、ごみ処理などに	21,557円
消防費	消防、救急活動、災害対策などに	17,042円
農林水産業費	農林業の振興、生産基盤の整備などに	11,629円
議会費	議会運営に	4,176円
商工費	商工業や観光の振興などに	3,256円
その他	予備費などに	365円
合計		304,338円



※予算額を平成24年3月1日現在の人口55,859人で割って算出

◆民生費 53億6,150万1千円 (0.4%減)

市民に一定水準の生活と安定した社会生活を保障するための経費で、高齢者や障がい者、乳幼児のための福祉や生活保護等に使われる費用です。

障がい者(児)が地域で生活できるようサービスの給付を行う障害福祉サービス給付事業に6億3,612万3千円、中学校修了前までの児童生徒を養育している保護者等に対し子ども手当を支給する子ども手当支給事業に8億6,400万円、生活に現に困窮している人に対し、生活扶助費、医療扶助費および住宅扶助費等を支給する生活保護扶助費に4億3,682万8千円等を計上しました。

また、新たに、震災により被災した住宅を建設・購入するために銀行等から借り入れする人に利子補給をする被災住宅復興支援事業に469万4千円、病児保育事業を開始する事業者に補助金を交付する病児保育補助事業に725万円を計上しました。

◆土木費 22億8,616万3千円 (2.4%増)

道路の新設改良や維持補修、河川、公園および市営住宅の維持管理、土地区画整理や市街地整備等、社会資本の整備に使われる費用です。

自動車、自転車および歩行者が安心して移動できる車道や歩道の整備を行う道路改良舗装事業に2億1,065万6千円、市街地の冠水被害等を防ぐために両宮排水路を改修する安心安全対策両宮排水路整備事業に3億9,302万円等を計上しました。

また、新たに、旧耐震基準で建築された住宅の耐震化を促進させるために耐震改修計画の策定および耐震改修工事に補助を行う木造住宅耐震化推進事業に110万円、良好な市街地の形成のため整備を行う菅谷地区まちづくり事業に4,080万円を計上しました。

◆総務費 22億7,030万5千円 (3.5%増)

市の全般的な管理事務等の経費で、市税の徴収や公有財産の維持管理、戸籍や住民基本台帳の管理、広報紙の発行、選挙、統計調査等に使われる費用です。

本庁舎照明のLED化に係る経費、光熱水費、修繕料等の庁舎管理事業に8,202万7千円、自治会および地区まちづくり委員会の活動に対し財政的支援を行い協働のまちづくりを推進する市民自治組織支援事業に1億1,172万円等を計上しました。

また、新たに、窓口サービスの向上に向けたフロアマネージャー配置事業に339万2千円、より一層の行財政改革を図る事業仕分け実施事業に180万円、納税機会の拡充を図るコンビニ収納事務事業に307万2千円を計上しました。

◆公債費 20億3,182万1千円 (0.7%減)

過去に公共施設の建設事業を実施した際の財源等として借り入れた市債を、返済するための費用です。

起債償還元金に17億1,467万3千円、起債償還利子に3億1,614万7千円等を計上しました。

◆教育費 18億907万2千円 (5.6%増)

学校教育、社会教育等の教育関係の経費で、幼稚園や小中学校の教育振興、文化・スポーツの振興等に使われる費用です。

臨時調理員の賃金や燃料費、賄材料費、給食配送委託料等の給食センター運営事業に2億9,047万1千円等を計上しました。

また、新たに、将来の統合等を見据えた教室数の拡充を行う芳野小学校校舎整備事業に1,023万8千円、老朽化の著しいテニスコートの整備を行う総合公園施設整備事業に3,100万円を計上しました。

◆衛生費 12億413万8千円 (8.5%減)

市民が健康で衛生的な生活を送れるよう良好な環境を保持するための経費で、各種検診や予防接種、公害対策、ごみの収集処理等に使われる費用です。

子宮頸がん・ヒブ・小児肺炎球菌等の予防接種事業に1億6,399万3千円、一般家庭から排出されるごみの収集および運搬を行う家庭系可燃ごみ収集事業に9,465万6千円等を計上しました。

また、新たに、不妊に悩む夫婦の経済的負担を軽減するため不妊治療費の一部を助成する不妊治療費助成事業150万円を計上しました。

◆消防費 9億5,192万6千円 (10.5%増)

消防本部の職員人件費、消防本部庁舎の維持管理、消防団の活動、消防施設の整備および維持管理、防災対策等に使われる費用です。

消防団設置事業に3,497万6千円等を計上しました。
また、新たに、西消防署に配置している水槽付ポンプ自動車を更新する常備消防車両整備事業に5,763万円、震災を踏まえ防災井戸を設置することにより避難所機能の充実を図る防災施設整備事業に300万円を計上しました。

◆農林水産業費 6億4,961万1千円 (12.2%減)

農業、林業および畜産の振興対策、生産基盤の整備、農道の維持管理、地籍調査等に使われる費用です。

農業用施設の整備を行い、農業生産性の向上および農業構造の改善を図る土地改良基盤整備事業に5,630万1千円等を計上しました。

また、新たに、農地の集積化に向け地区レベルで地域農業のあり方を検討する地域農業マスタープラン作成事業に88万8千円を計上しました。

◆商工費 1億8,187万円 (4.3%減)

商工業の振興やイベント等の観光事業等に使われる費用です。

なかひまわりフェスティバル事業に1,335万4千円等を計上しました。

また、新たに、地域活性化に向けた観光振興計画策定事業に81万2千円を計上しました。

(表5、図3参照)

平成24年第1回那珂市議会定例会

3月12日～27日の16日間の会期で開催

議会



市長提出議案は報告2件、条例の制定・一部改正19件、平成23年度補正予算10件、平成24年度予算10件、その他8件、合わせて49件について審議され、全議案について原案のとおり可決されました。

行政概要報告

■行財政改革の取組みについて

管理的経費の削減および市民サービスの向上を図るため、広告入り郵便用封筒および窓口用封筒に関し、1月に広告代理業者と無償提供の協定を締結しました。

■那珂ふるさと大使について

1月12日に新たに那珂ふるさと大使1人を任命し、中央公民館において委嘱状交付式を行い、那珂市新年賀詞交歓会で紹介しました。また、引き続き開催した情報交換会では、活動を通して感じたことやPRの手法等について意見を交わしました。

■ふれあい座談会について

12月1日から2月29日の間に「市長と話そうふれあい座談会」を3回開催し、自治会から出た地域の課題についての意見交換を行うとともに、施策の取り組みに関し質疑応答を行いました。

■人権啓発活動について

2月12日に総合センターらぼーるにおいて、ダニエル・カール氏を講師に迎え人権啓発講演会を開催しました。

■広報活動について

平成23年茨城県広報コンクールにおいて、広報なか平成23年6月号が広報紙の部で、広報なか平成23年10月号が組み写真の部でそれぞれ入選しました。

■地域公共交通について

地域の実情に応じた移動手段を確保し、持続可能な地域公共交通ネットワークを構築するため、25人の委員からなる那珂市地域公共交通会議を設置しました。また、那珂市地域公共交通連携計画の策定に向け2月24日に第1回会議を開催しました。

■経営戦略会議について

市の政策や運営に関して学識経験者や企業経営者から意見を聞き、効果的かつ効率的な政策を推進するため、5人の委員からなる那珂市経営戦略会議を設置し、2月27日に第1回会議を開催しました。

■市議会議員一般選挙について

任期満了に伴う那珂市議会議員一般選挙を2月26日に執行しました。市内26か所の投票所で午前7時から午後6時まで投票を行い、午後7時からは中央公民館において開票を行いました。投票率は57.76%でした。

■福祉施策について

計画期間の終了に伴い、平成24年度を初年度とする那珂市障がい者プランおよび那珂市高齢者保健福祉計画を策定しました。また、那珂市地域福祉計画につきましましては、中間年度の見直しを行いました。いずれも、市民のかたの意見等を反映するため、パブリックコメントを実施しております。

■市街地整備事業について

上菅谷駅前地区土地区画整理事業につきましましては、12月に上菅谷駅前広場電気設備工事、1月に上菅谷駅前地区上下水道管布設工事をそれぞれ発注しました。

菅谷・市毛線街路整備事業につきましましては、1月に菅谷・市毛線の伐採の委託、3月に埋蔵文化財発掘の委託をそれぞれ発注しました。

■公共下水道事業について

業務委託につきましては、1月に横堀地区管路施設実施設計、2月に下菅谷南地区汚水管布設箇所水道管移設実施設計をそれぞれ発注しました。

工事につきましては、12月に瓜連地区マンホールポンプ設置工事を発注しました。

■上水道事業について

12月に菅谷地区配水管布設（第3工区）工事、瓜連配水場緊急遮断弁設置工事および下菅谷地区配水管移設（第1工区）工事、1月に菅谷地区配水管布設（第4工区）工事をそれぞれ発注しました。また、2月に下菅谷処理地区、堤処理地区、向山処理地区および横堀第2処理地区の配水管移設工事を発注しました。

■成人式について

1月7日に中央公民館において成人式を開催しました。今年の該当者は576人で出席者は461人、出席率は80.03%でした。

■文化財保護について

市の貴重な文化遺産である額田城跡を広く市民が利活用し、かつ、次世代に継承するため、文化財保護審議会への諮問・答申を経て、額田城跡保存管理計画を策定しました。

■消防業務について

12月1日から2月29日までの消防訓練指導につきましては、事業所や学校等を対象に17回行い、1974人が参加し、防火防災知識の修得と防火意識の向上を図りました。また、普通救命講習会を3回行い77人が修了し、応急手当の普及に努めました。

火災出場件数につきましては、建物7件、林野が4件、その他が2件、合計13件、救急出場件数につきましては、急病が316件、交通事故が68件、その他が140件、合計524件となっております。

また、消防意識の高揚と防災活動の自覚を図り、「安全で安心なまち」の実現を目指して、1月8日に那珂総合公園において消防関係者が一堂に会し消防出初式を開催しました。

■東日本大震災について

東日本大震災からの早急な復旧・復興と今後の防災対策の方針について、昨年7月に策定した那珂市東日本大震災復旧方針を見直し、那珂市東日本大震災復旧・復興方針を策定しました。

また、市民の放射線に対する不安

を解消するため、公共施設等における空間放射線量および水道水内の放射性物質濃度の測定を引き続き実施しております。1月からは簡易測定器により、保育所や学校給食の食材および市内で生産された農畜産物を独自に検査し、食における安全の確保と風評被害の防止に努めております。これらの測定結果につきましては、ホームページや広報紙等で公表しております。

災害発生時に迅速な応急活動を可能にするため、企業や団体等と災害時応援協定を結び、支援や協力体制の整備を進めております。2月6日には、芙蓉レンタル株式会社茨城営業所と車両、仮設トイレ等について、2月9日には、茨城県石油業協同組合適格組合那珂支部と災害復旧車両への燃料供給について、また利根コカ・コーラボトリング株式会社と飲料水について、それぞれ優先的な提供等に関する協定を締結しました。

復旧・復興に関する各種工事の発注作業等も引き続き進めており、12月に木崎浄水場管理本館修繕工事、1月に木崎浄水場内整備工事をそれぞれ発注しました。

公共下水道につきましては、2月に杉原第1処理地区、下菅谷処理地区、高内処理地区および古徳処理地区の下水道災害復旧工事を発注し、7処理地区において施工中です。未

発注の6地区につきましては、3月に発注します。

農業集落排水につきましては、2月に西木倉処理施設災害復旧工事を発注しました。

ため池につきましては、12月に明神下、文洞他3か所の災害復旧工事を発注しました。排水路につきましては、12月に柳沢宮下の災害復旧工事を発注しました。

また、公共土木施設災害復旧工事につきましては、10件の工事を発注しました。

五台幼稚園および横堀幼稚園につきましては、1月に園舎の解体工事が完了し、3月末までに仮設園舎を設置します。また、学校施設につきましては、2月に菅谷小学校および五台小学校の災害復旧屋内運動場補修工事を発注しました。

総合公園の室内プールにつきましては、復旧工事が完了し、3月14日から使用を再開します。なお、4月20日から26日までの1週間、無料で開放します。

余暇活用施設「しどりの湯保養センター」につきましては、復旧工事が完了し、2月10日から営業を再開しました。また、静峰ふるさと公園、清水洞の上公園および曲がり屋につきましては、復旧工事が全て完了しております。

消防関係につきましては、西消防署庁舎、消防団詰所および通信指令

室の消防防災施設ならびに高機能消防指令センター、無線設備および防災行政無線等の通信設備に関する復旧工事が完了しました。また、破損した火の見1基および水防倉庫1棟を解体し、防火水槽5基を修復しました。

消防本部、東消防署庁舎および西消防署訓練塔の復旧工事ならびに消防団詰所資機材倉庫増築工事およびホース乾燥塔の修繕工事につきましては、今年度中の完了に向けて作業を進めております。

課税対象となっている住居等が震災により受けた被害の程度に応じて、市税等の減免措置を講じており、2月末日現在の減免の対象件数と見込み額は次のとおりです。

個人市市民税は、全壊34件、大規模半壊17件、半壊277件、その他1件、合計329件で1155万2千円、固定資産税は土地が2件で2万4千円、家屋が全壊237棟、大規模半壊28棟、半壊432棟、その他25棟、合計722棟で1434万円です。なお、家屋のうち、住家は429棟、非住家は293棟です。

国民健康保険税は、全壊27件、大規模半壊7件、半壊113件、合計147件で1343万8800円です。後期高齢者医療保険料は、全壊25件、大規模半壊11件、半壊132件、合計168件で351万5500円です。介護保険第1号被保険者

市長提出議案

全議案可決

◎報告

専決処分について（平成23年度那珂市一般会計補正予算（第8号））／専決処分の報告について（損害賠償補償事故の賠償額の決定）

◎条例の制定・一部改正

那珂市行政組織条例の一部を改正する条例／那珂市職員定数条例の一部を改正する条例／那珂市監査委員条例の一部を改正する条例／財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例／那珂市国民保護協議会条例の一部を改正する条例／那珂市環境審議会条例の一部を改正する条例／那珂市介護保険条例の一部を改正する条例／那珂市における土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例／那珂市産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例／那珂市都市公園条例の一部を改正する条例／那珂市営住宅条例の一部を改正する条例／那珂市公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例／那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例／那珂市危険物規制事務手数料条例の一部を改正する条例／那珂市消防本部及び消防署設置に関する条例の一部を改正する条例／那珂市震災復興まちづくり基金条例／那珂市墓地、埋葬等に関する法律施行条例／那珂市と茨城県信用保証協会との損失補償金寄託契約に基づく回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例／那珂市水道事業給水条例

◎平成23年度補正予算

平成23年度那珂市一般会計補正予算（第9号）／平成23年度那珂市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）／平成23年度那珂市下水道事業特別会計補正予算（第4号）／平成23年度那珂市公園墓地事業特別会計補正予算（第2号）／平成23年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計補正予算（第4号）／平成23年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）／平成23年度那珂市上菅谷駅前地区土地地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）／平成23年度那珂市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）／平成23年度那珂市水道事業会計補正予算（第4号）／平成23年度那珂市一般会計補正予算（第10号）

◎平成24年度予算

平成24年度那珂市一般会計予算／平成24年度那珂市国民健康保険特別会計（事業勘定）予算／平成24年度那珂市下水道事業特別会計予算／平成24年度那珂市公園墓地事業特別会計予算／平成24年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計予算／平成24年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算／平成24年度那珂市上菅谷駅前地区土地地区画整理事業特別会計予算／平成24年度那珂市後期高齢者医療特別会計予算／平成24年度那珂市地方公平委員会特別会計予算／平成24年度那珂市水道事業会計予算

◎その他（同意を含む）

公の施設の広域利用に関する協議について／工事請負契約の締結について／市道路線の認定について／市道路線の廃止について／人権擁護委員の推薦について／工事請負契約の締結について／那珂市副市長の選任について／那珂市監査委員の選任について

の介護保険料は、全壊52件、大規模半壊18件、半壊208件、合計278件で526万3千円です。
また、介護保険料の減免対象者で介護サービスを利用しているかたについて、介護サービス利用料の1割の利用者負担額および施設サービスにおける食費・居住費を免除しております。2月末日現在の利用者負担額免除対象件数は48件、免除見込額は630万円、食費・居住費免除対象件数は40件、免除見込額は551万8千円です。
原子力災害対策特別措置法の規定により、東京電力福島第一原子力発

電所の事故に伴う避難者に対しましては、国民健康保険税等を全額免除しました。全額免除となったのは、国民健康保険税が3件で36万2700円、後期高齢者医療保険料が2件で7400円、介護保険第1号被保険者の介護保険料が5件で14万4千円です。
農畜産物の損害賠償につきまして、1月末までの申請状況は、請求者数53人、請求額7884万3千円です。また、請求に伴う東京電力からの支払いにつきましては、12月20日現在で、支払総額4282万4千円となっております。

被災されたかたを支援するため、引き続き被災者生活再建支援制度による国の支援金および県・市の災害見舞金を支給しており、2月末日現在の支給状況は次のとおりです。国の支援金は、全壊が82件、大規模半壊が6件、合計88件で総額1億7312万5千円です。県の災害見舞金は、半壊171件で513万円で、市の見舞金は、住家の全壊が46件、半壊が241件、非住家の半壊以上が263件、合計550件で総額1928万円です。また、災害援

那珂市に対して全国から寄せられた義援金は、2月末日現在で個人が27件で68万6282円、法人・団体等が41件で1194万8008円、合計68件で総額1263万4290円です。国および県からの義援金と合わせて支給しており、2月末日現在の支給状況は、死亡1件、全壊44件、大規模半壊13件、半壊228件の合計286件で、国および県の支給金額と合わせて総額2億452万6224円です。

平成24年3月12日
那珂市長 海野 徹

市監査委員が決まりました



■加藤直行氏

【任期】
平成24年3月29日～
平成28年3月9日

地方自治法の規定により市議会議員のうちから選任された助川則夫監査委員が3月9日をもって任期満了となり、新たな委員として加藤直行議員（菅谷）が選任されました。監査委員は、公正で効率的な行政を確保するため、市が実施している様々な事業や財政援助を行っている団体などの事業が、経済的、効率的、効果的に運営されているかどうか、また、財務会計事務が正しく行われているかどうかなどを、市長から独立した立場でチェックする役割を担っています。

4月1日から 那珂市副市長に松崎達人氏



■松崎達人氏（まつざき たつひと）
水戸市在住
昭和39年生まれ（47歳）

【任期】
平成24年4月1日～
平成28年3月31日

4月1日から新たな那珂市副市長に、茨城県職員であった松崎達人氏が就任しました。松崎氏は、昭和62年4月に茨城県職員として採用され、人事課、県北地方総合事務所、議会事務局および事業推進課などの経歴を持ち、茨城県政発展のためその手腕を発揮されました。

那珂市経営戦略会議が開催されました

問い
合わせ

政策企画課政策企画グループ
☎298-1111（内線432）



■那珂市経営戦略会議の様子

市の政策や運営に関して、自治体経営の観点から、専門的な知識を有しているかたおよび企業経営者から意見を伺い、効果的かつ効率的な政策を推進するために那珂市経営戦略会議が設置され、第1回目の会議が2月27日に市役所で開催されました。委員には、学識経験者として、茨城大学地域総合研究所の先崎千尋特命教授と常磐大学コミュニティ振興学部の塚原正彦准教授が、企業経営者として、株式会社那珂ハウジングの川野勝行代表取締役社長と木内酒造合資会社の木内敏之常務取締役が、また、寺門義一前那珂市副市長が委嘱され、海野市長から委員一人ひとりに委嘱状が手渡されました。海野市長から、「那珂市を活力あふれる魅力ある自治体にするために、外部のかたによる最良のアドバイスをいただきたい」とのあいさつがあり、委員長に先崎氏、副委員長に塚原氏が選任されました。会議は、市内の工業団地や現在事業を実施している場所などを視察した後、市の概況説明があり、地域振興や企業誘致などについての意見交換が実施されました。

那珂市地域公共交通会議が開催されました

問い
合わせ

政策企画課公共交通グループ
☎298-1111（内線432）

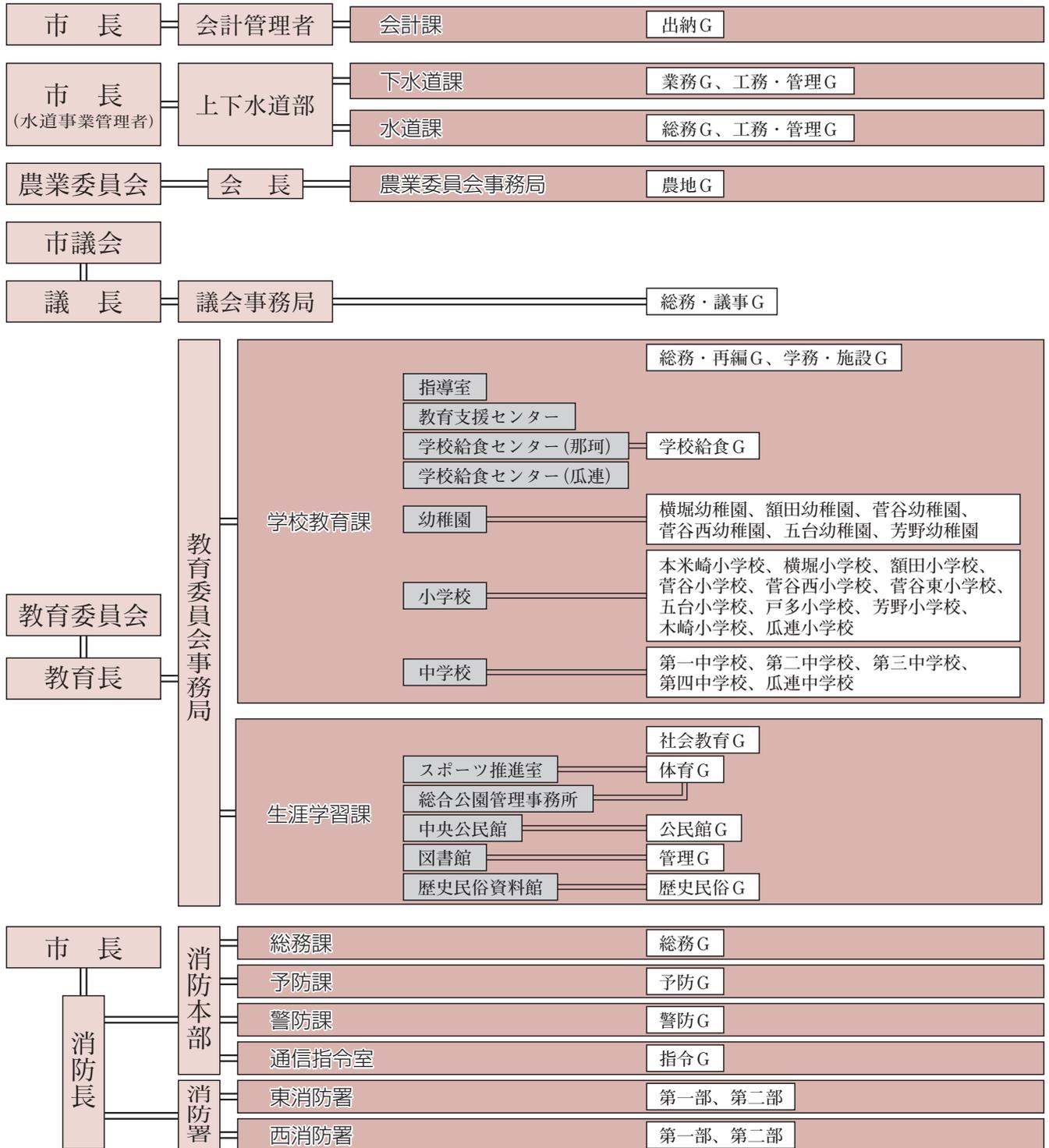


■那珂市地域公共交通会議の様子

那珂市の実情に応じた持続可能な地域公共交通体系の構築を目指し、那珂市地域公共交通会議が、2月24日に、初会合を開きました。那珂市地域公共交通会議は、9月に策定される予定の「那珂市地域公共交通連携計画」の策定に向けて、那珂市の現況や公共交通の課題などをふまえて議論をしていくもので、海野市長をはじめ、市民のかたから選ばれた利用者代表や、まちづくり協議会の代表者、関係機関などを含めた25人の委員で構成されています。この会議を開催する背景には、車の運転が困難な高齢者などの移動制約者に対する移動手段の確保や、市内の交通空白地区・交通不便地区の解消が課題となっている現状があります。課題の解消には、地域公共交通の活性化・再生を、利用者増や既存の交通サービス維持だけでなく、地域が抱える課題なども含めた総合的な観点から地域交通の問題解決・克服を一体的に推進していくことが必要です。市民の皆さんにとって、より利便性の高い輸送サービスを実現するため、今後も会議を重ねていきます。

行政組織の一部を変更しました

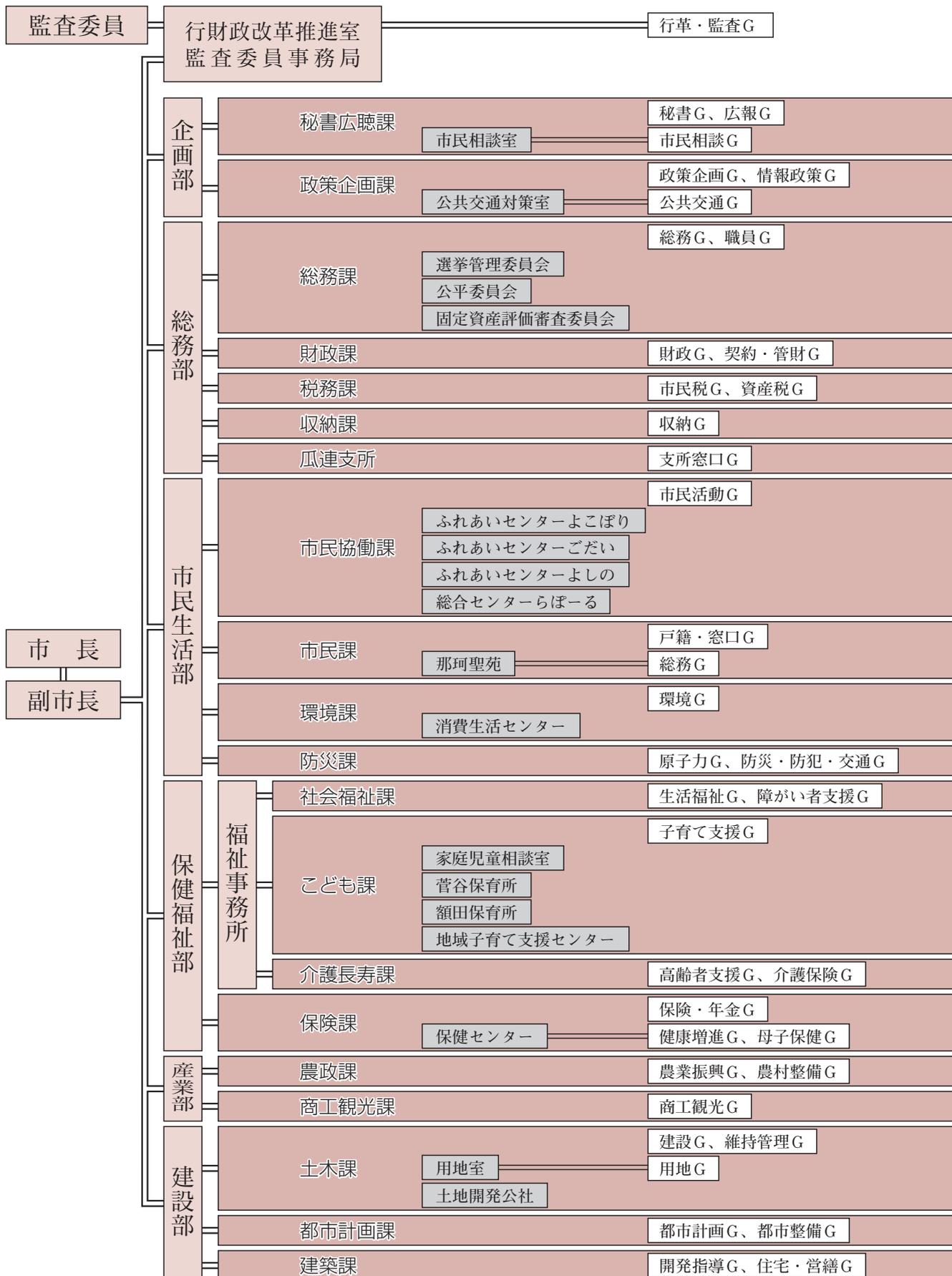
市では、昨年の東日本大震災における災害対応等を踏まえて、危機管理体制を強化するため、環境安全課から防災部門を独立させて防災課を設置するなど、当面する課題に対応するため、平成24年4月1日から、行政組織の一部改編を行い、併せて課やグループの名称も一部改めました。改正後の組織図は次のとおりです。



※Gは「グループ」を表します

■ 問い合わせ 総務課総務グループ ☎298-1111 (内線514)

那珂市行政組織図



◆第1号被保険者の保険料

第1号被保険者の保険料は、平成24～26年度の介護保険総給付費のうち、第1号被保険者が負担することとなる給付費(給付費全体の21%)を第1号被保険者の人数で割ることによって算定します。

第5期計画においては、保険料上昇の軽減を図るため、市の介護給付費等準備基金から3,000万円、茨城県財政安定化基金から1,300万円の取崩しを行いました。しかしながら、これまでの給付実績の伸びや今後の介護保険施設の整備状況、介護報酬改定等を踏まえた上で保険料を算定した結果、第5期計画期間の第1号被保険者の保険料基

準月額、4,940円となりました。これは、第4期計画期間の保険料基準月額3,850円と比較して、1,090円の増額となります。

介護保険料の段階設定については、低所得者への配慮を行いながら、各段階間の差額バランスにも配慮し、第4期計画と同様の7段階としました。市は、今後とも介護保険事業の安定的かつ円滑な運営と質の高い介護サービスの提供に努めてまいりますので、今回の介護保険料改定につきまして、どうぞご理解くださるようお願い申し上げます。

(円)

所得段階	平成21～23年度		→	新保険料 平成24～26年度	
	対象者	年額 (月額)		対象者	年額 (月額)
1	生活保護を受給するかた、または住民税非課税世帯で老齢福祉年金を受給するかた	20,760 (1,730)	→	生活保護を受給するかた、または住民税非課税世帯で老齢福祉年金を受給するかた	27,840 (2,320)
2	世帯全員が住民税非課税で、前年の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下のかた	20,760 (1,730)	→	世帯全員が住民税非課税で、前年の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下のかた	27,840 (2,320)
3	世帯全員が住民税非課税で、第1・2段階に該当しないかた	33,240 (2,770)	→	世帯全員が住民税非課税で、第1・2段階に該当しないかた	43,800 (3,650)
4 特例	第4段階のうち前年の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下のかた	42,000 (3,500)	→	第4段階のうち前年の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下のかた	56,280 (4,690)
4 基準額	住民税課税世帯で、本人が住民税非課税のかた	46,200 (3,850)	→	住民税課税世帯で、本人が住民税非課税のかた	59,280 (4,940)
5	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が125万円未満のかた	53,520 (4,460)	→	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が125万円未満のかた	73,440 (6,120)
6	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が125万円以上200万円未満のかた	61,440 (5,120)	→	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が125万円以上190万円未満のかた	84,720 (7,060)
7	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が200万円以上のかた	75,720 (6,310)	→	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が190万円以上のかた	99,000 (8,250)

※介護保険法施行規則の所得基準額の改正に伴い第6段階と第7段階の適用条件については、200万円から190万円に変更となりました。

介護保険料の改定をお知らせします

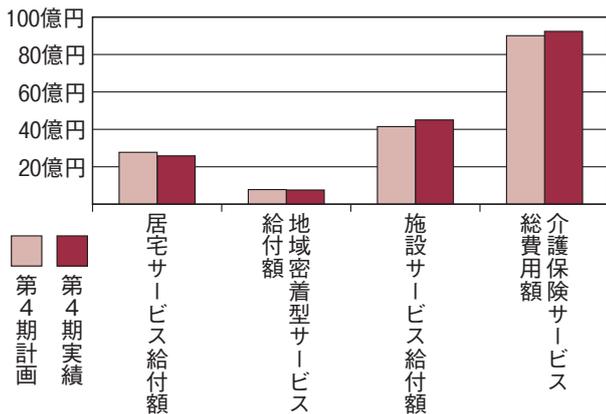
◆第5期介護保険事業計画（平成24～26年度）を策定しました

全国的に高齢化が急速に進行する中、那珂市においても高齢者人口は増加してきており、高齢化率は24%を超えるとともに、要介護認定率も14%を超えています。このような中で、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるようにするためには、「医療、介護、予防、住まい、生活支援サービス」が有機的に連携した「地域包括ケアシステム」の構築が必要となっています。

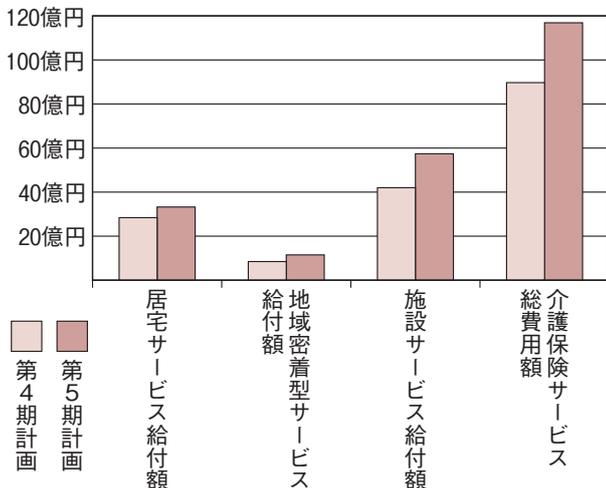
それらを目標として、平成24年度から平成26年度までの3年間の介護保険事業に係る介護保険給付（居宅・施設・地域密着型サービス等）の必要量を見込む「第5期介護保険事業計画」を策定しました。

◆第4期計画の実績と第5期計画の見込み

第4期計画（平成21～23年度）では、介護保険サービス総費用額を約90.0億円と見込みましたが、実績額では約92.3億円と計画額を約2.3億円上回る伸びとなりました。



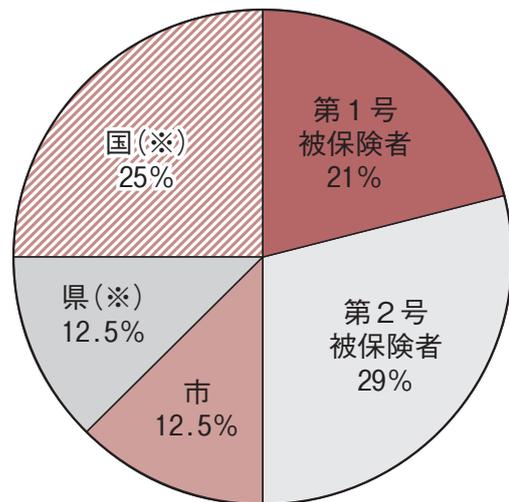
第5期計画では、高齢者人口の増加に伴う要介護認定者の増加や介護報酬の改定等による影響を考慮して、平成24～26年度の3年間の介護サービス総費用額は、約117.0億円と見込んでいます。



◆介護保険事業にかかる給付費の財源内訳

介護サービスの利用では費用の1割が自己負担となり、残りの9割が保険から給付されます。保険給付額の半分は「介護保険料」(65歳以上のかた：第1号被保険者21%、40歳～64歳のかた：第2号被保険者29%)で賄い、残りの半分は、国(25%)県(12.5%)市(12.5%)の割合で、公費(税金)で負担します。

介護保険の費用負担割合



第1号被保険者の費用負担割合が人口構成比により第4期計画の20%から21%に変更となりました(第2号被保険者は30%から29%に変更)。

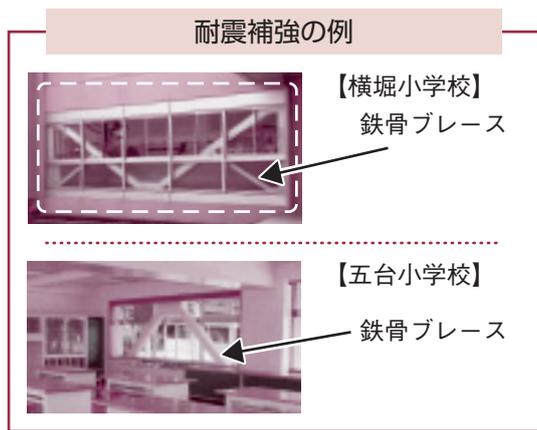
※施設給付費については国が20%、県が17.5%となります。

市立幼稚園、小中学校施設の耐震診断の結果を公表します

学校施設は、児童生徒が一日

の大半を過ごす活動の場であるとともに、震災などの非常災害時には地域のかたがたの避難場所としての役割も果たす場所です。このため、市では学校施設の安全性を確保するため、次のとおり、実施した耐震診断の結果を公表します。

今後は耐震診断の結果に基づき、耐震改修工事を順次進めていきます。



■対象の建物

昭和56年以前の建築基準法に基づいて建設された建物のうち、非木造で2階建て以上または床面積の合計が200平方メートルを超えるすべての建物です。

■Is値とは

Is値は、建物の耐震診断を判断するための数値（構造耐震指標）で、建物の耐震性能を表す指標です。この指標は、①地震力に対する建物の強度、②地震力に対する建物の粘り強さが大きいほど、この指標の値が大きくなり、耐震性能が高くなります。

国土交通省では、安全の目安としてIs値を0.6以上としています。また、Is値に対する耐震性能を下表のように判断しており、値が大きいほど耐震性が高いことを表します。

なお、文部科学省では学校としての特殊性と地域の避難場所としての機能を加味し、安全の目安をIs値0.7以上としているため、Is値が0.7未満の学校施設は、耐震補強工事が必要となります。

Is値と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性について

Is値	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性
0.3未満	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い
0.3以上～0.6未満	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある
0.6以上	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い

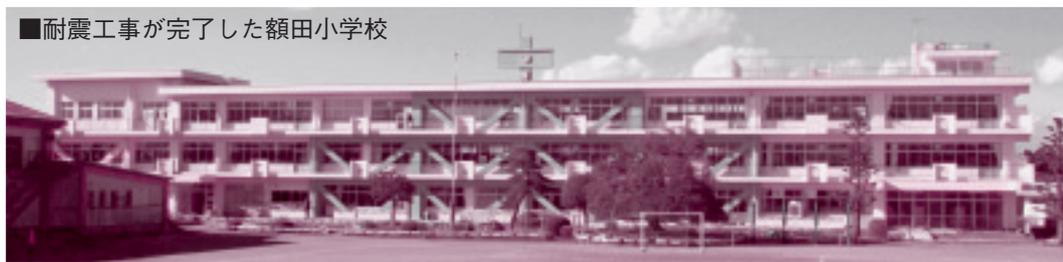
（平成18年1月25日 国土交通省告示第184号による）

※文部科学省では、地震の振動および衝撃とは大規模地震を示しています。

※Is値0.6の建物は、「必要な耐震強度に対し100%の強度を持っている」ことを意味しており、「耐震強度が60%」ということではありません。

※建築防災協会基準によると耐震診断の結果の判定はIs値0.6未満の場合「構造体としての耐震性は『疑問あり』とされるが、これが直ちに構造体の崩壊・大破を意味するものではない」とされています。

■耐震工事が完了した額田小学校



問い合わせ
 学校教育課学務施設グループ（瓜連支所）
 ☎ 298・1111 内線8276

●学校施設耐震診断結果一覧【対象となる小中学校および幼稚園】

学校名	棟名	建物概要				耐震診断 (二次) によるIs値	備考
		建築年	構造	階数	延床面積 (m ²)		
本米崎 小学校	体育館	昭和55	S	2	704	0.74	耐震補強工事の必要なし
横堀 小学校	校舎	昭和47	R C	2	2,260	0.72 (補強後)	平成14年度補強工事完了
	東側校舎	昭和56	R C	2	464	0.96	耐震補強工事の必要なし
	体育館	昭和54	S	2	886	0.79	耐震補強工事の必要なし
額田 小学校	校舎	昭和50	R C	3	3,007	0.75 (補強後)	平成21・22年度補強工事完了
	体育館	昭和53	S	2	912	0.77	耐震補強工事の必要なし
菅谷 小学校	校舎	昭和43 昭和44 昭和45	R C	3	3,713	0.78 (補強後)	平成21年度補強工事完了
	西側校舎3階部分	昭和49	S	1(3)	625		西側校舎3階部分は、平成20年度撤去済み
	体育館	昭和54	R C	2	1,100	0.36	平成23・24年度補強工事予定
菅谷西 小学校	校舎	昭和54	R C	3	3,300	0.47	平成25年度以降工事予定
五台 小学校	校舎	昭和48 昭和52 昭和53	R C	3	3,793	0.74 (補強後)	平成18・19年度補強工事完了
	体育館	昭和55	R C	2	1,000	0.14	平成23・24年度補強工事予定
戸多 小学校	校舎	昭和47	R C	2	2,111	0.28	平成25年度以降工事予定
	体育館	昭和52	S	2	692	0.96	耐震補強工事の必要なし
芳野 小学校	校舎	昭和49	R C	3	2,933	0.75 (補強後)	平成22・23年度補強工事完了
第一 中学校	北側校舎東側	昭和52	R C	2	1,113	0.75	耐震補強工事の必要なし
	北側校舎西側	昭和56	R C	3	681	0.66	平成25年度以降工事予定
	体育館	昭和45	R C	2	1,204	0.16	平成23・24年度補強工事予定
第二 中学校	校舎(本館)	昭和41 昭和42	R C	3	3,115	0.27	平成23・24年度補強工事予定
	東側校舎金工木工室棟	昭和42	S	1	243	0.83	耐震補強工事の必要なし
	体育館	昭和46	R C	2	1,050	0.35	平成23・24年度補強工事予定
第三 中学校	校舎	昭和43 昭和44	R C	3	2,949	0.36	平成23・24年度補強工事予定
	北側校舎特別教室棟	昭和45	R C	2	832	0.49	平成23・24年度補強工事予定
	北側校舎金工木工室棟	昭和45	S	1	216	0.77 (補強後)	平成22年度補強工事完了
	体育館	昭和44	S	2	1,014	0.04	平成23・24年度補強工事予定
瓜連 中学校	校舎 (1-1、1-2、1-3)	昭和46 昭和47 昭和49	R C	2	2,157	0.38	平成25年度以降工事予定
	北側校舎金工木工室棟	昭和49 昭和50	S	1	288		平成22年度改築済み
横堀幼稚園	園舎	昭和47	S	1	262		取り壊し済み 仮設園舎設置
額田幼稚園	園舎	昭和52	S	1	302	0.21	平成25年度以降工事予定
菅谷幼稚園	園舎	昭和52	S	1	535	0.24	平成25年度以降工事予定
菅谷西幼稚園	園舎	昭和54	S	1	350	0.33	平成25年度以降工事予定
五台幼稚園	園舎	昭和48	S	1	314		取り壊し済み 仮設園舎設置
芳野幼稚園	園舎	昭和52	S	1	318	0.19	平成25年度以降工事予定

※1 構造「R C」とは鉄筋コンクリート造り、「S」とは鉄骨造り

※2 延床面積とは棟の床面積の合計

●本米崎小学校校舎、菅谷西小学校体育館、菅谷東小学校、芳野小学校体育館、木崎小学校、瓜連小学校、第四中学校、瓜連中学校体育館は、新耐震基準の建物であるため調査の対象外。

那珂市すべての家庭に 住宅用火災警報器の設置が義務化されました！

那珂市では、平成20年6月1日からすべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。「いざ」という時に備え、しっかりと備え付けておきましょう。

なぜ住宅用火災警報器が必要なの？

住宅火災から大切な家族の命を守るため、自分自身の命を守るために住宅用火災警報器は大切な役割を果たしています。

住宅用火災警報器ってどんなもの？

住宅用火災警報器は火災を見つけ、音や音声で知らせます。

どんな種類があるの？

○煙式（寝室、階段、台所など）
煙が火災警報器に入ると音や音声でお知らせします。

○熱式（車庫、台所など大量の煙や湯気が滞留する場所など）

住宅用火災警報器周囲が一定の温度に達すると音や音声でお知らせします。

○火災ガス漏れ複合型
住宅用火災警報器とガス漏れ警報器の機能を複合した警報器

○補助警報装置
高齢者のかた、目や耳の不自由なかたには、音や光の出る補助警報装置の増設をおすすめします。



どの部屋に取り付けるの？



義務設置…取り付けが義務付けられているところ（煙式）
任意設置…取り付けをおすすめするところ（熱式または煙式）

※市町村の火災予防条例によって義務設置場所が異なりますので、最寄りの消防本部、消防署に確認しましょう

どこで買えばいいの？

防災設備取扱店や電気器具販売店、ホームセンター、家電量販店などで購入できます。
お求めの際は、日本消防検定協会の「NSマーク」の付いているものをおすすめします。

悪質な訪問販売にご注意ください

- 不審に思ったら
- ・はつきり断る
- ・書類（契約書）には押印やサインをしない
- ・相手が脅迫的な行動に出た場合は、警察に連絡する



日本消防検定協会の
NSマーク

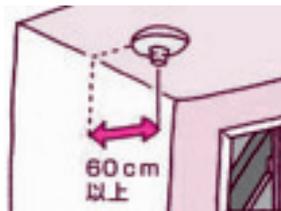
どうやって取り付けるの？



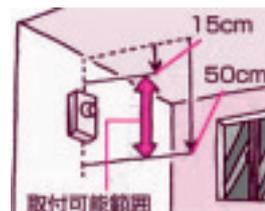
○はりなどがある場合
住宅用火災警報器の中心を、はりから60cm以上離します。



○エアコンなどの吹き出し口付近の場合
換気扇やエアコンの吹き出し口から1.5m以上離します。



○天井の場合
住宅用火災警報器の中心を壁から60cm以上離します。



○壁の場合
天井から15～50cm以内に住宅用火災警報器が来るようにします。

大きな火災に至らずに済んだ事例

事例① たばこの火が座布団に落ちて着火

タバコを吸っている時に、近くにあった座布団にタバコの火が落ちたことに気が付かなかったため、後から座布団が燃え上がりました。

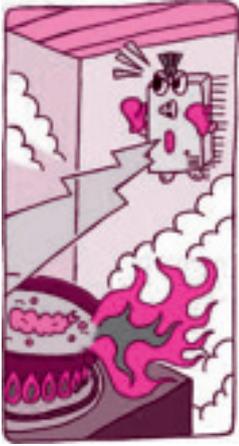
住宅用火災警報器が作動し、隣家の主婦がこの警報音に気付き、119番通報の後、自宅の消火器で消し止めたので、座布団とゴザが少し燃えたばかりで火災で済みました。



事例② てんぷら油が発火し、

付近のタオル等に引火

コロッケを揚げていた時に来客があり、ガスコンロの火を消さずにその場を離れたため、火がついたままであることを忘れてしまいました。その後、てんぷら油の温度が上昇して燃え上がり、付近のタオルやのれんを焦がしましたが、住宅用火災警報器が作動したので火災に気が付き、隣家の男性が自宅の消火器で消火しました。てんぷら火災による奏功事例は多数あります。



杉女性防火クラブが誕生

3月4日、ふれあいセンターよこぼりで、杉女性防火クラブ結成式が行われました。那珂市では7番目の婦人（女性）防火クラブとなります。

杉女性防火クラブは、杉自治会長の木野内忠雄さんをはじめ、多数の設立準備委員で構成され協議を重ねてきました。現在は、土屋保子会長をはじめ27人の会員で構成されています。

平成22年4月1日時点で、全国で1万1586団体の婦人（女性）防火クラブが組織され、約182万人のクラブ員が活動しています（茨城県消防安全課調べ）。

全国で発生した火災の58%が建物火災で、そのうち約半数が一般住宅であり、家庭において火気を取り扱う機会が多い女性が防火に果たす役割は大きくなっています。そのため各団体では、消防法で設置が義務化された住宅用火災警報器設置促進活動や共同購入、管内の火災予防広報、災害時の後方支援活動など地域の実情に応じた様々な活動を行っています。

このように、婦人（女性）防火クラブは地域の防火・防災のために貢献し、安全な地域社会の実現に寄与しています。東日本大震災の際にも、各地区において被災者に対しての炊き出しや、高齢者の安否確認等を行うなど、「自分たちの地域は自分たちで守る」という信念と連帯意識のもとに、火災や災害に強いまちづくりに向け積極的に活動しています。



住宅用火災警報器の設置促進活動を実施

3月上旬、春の火災予防週間に伴い、各地区で那珂市消防団女性消防部による住宅用火災警報器の設置促進活動が行われ、市立図書館前では、女性消防部の部長である後藤京子さんが、昨年入団した娘の絵梨さんとともに設置促進活動を行いました。

近頃、那珂市では住宅火災が多発しています。「火事なんて自分には関係ないこと」と思っていないませんか。でもそれは決して他人事ではなく、どこの家庭にも起こりうることです。家族一人ひとりが防火への意識を高め、家庭や地域を守らなくてはなりません。万が一のとき、住宅用火災警報器があればいち早く火災を知らせてくれます。「まさか！」の住宅火災で逃げ遅れによる犠牲者をなくすため、あなたや家族の尊い命を守る住宅用火災警報器を必ず設置しましょう。



問い合わせ

消防本部予防課予防グループ
☎ 295-2114

コンビニで市税等が納付できるようになります！

4月から全国の主要コンビニエンスストアで、納期限内に限り、市税等が納付できるようになります。休日・夜間を問わず納付することができますので、ぜひご利用ください。
※従来どおり金融機関での窓口納付や口座振替も可能ですので、ご都合のよい納付方法をお選びください。

◆コンビニで納付できる税・料

固定資産税・都市計画税／軽自動車税／市県民税／国民健康保険税／介護保険料／後期高齢者医療保険料

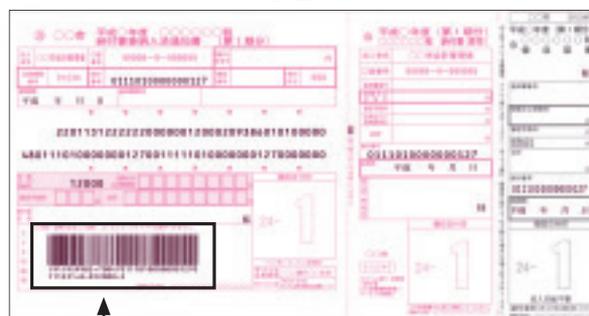
◆取扱コンビニ店舗 エブリワン／MMK 設置店(※)／くらしハウス／ココストア／コミュニティ・ストア／サークルK／サンクス／スパーク北海道／スリーエイト／スリーエフ／生活彩家／セイコーマート／セーブオン／セブン-イレブン／タイエー／デイリーヤマザキ／ハセガワストア／ファミリーマート／ポプラ／ミニストップ／ヤマザキスペシャルパートナーショップ／ヤマザキデイリーストアー／ローソン

※MMK 端末（公共料金収納端末）が設置され、店頭において「公共料金収納取扱窓口」の表示のある店舗

◆コンビニ納付で注意すること

以前の納付書は各納期分をまとめて綴じてありましたが、コンビニ納付の開始により1枚ごとの単票になります。納付の際は、納付書に記載してある期別と納期限をよくお確かめのうえ、納める納付書のみを現金とともにコンビニのレジカウンターにお持ちください。

<納付書見本>



この部分にバーコードが入っています

◆以下の納付書はコンビニでは納付できませんので、金融機関等で納付してください

全期前納用の納付書／納期限が過ぎてしまった納付書／1枚あたりの金額が30万円を超える納付書／金額を訂正した納付書／バーコードの印字がない納付書／破損などでバーコードを読み取ることができない納付書

※旧納付書は引き続き金融機関またはゆうちょ銀行（郵便局）で使用できます

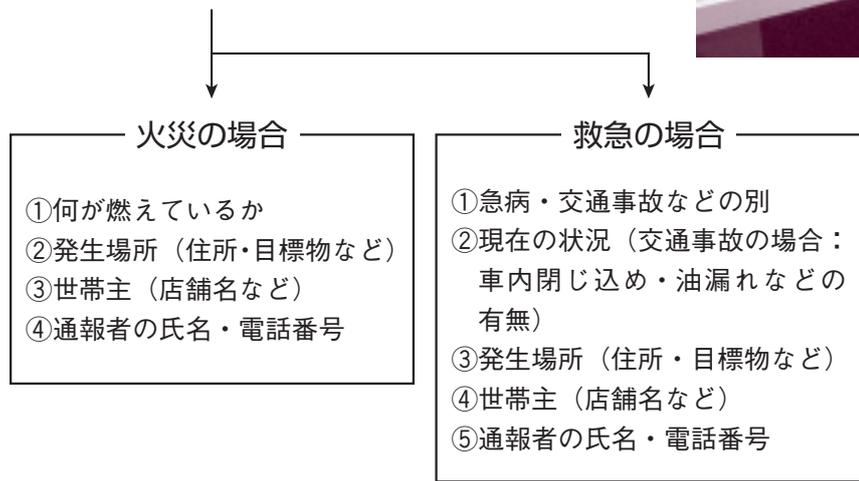
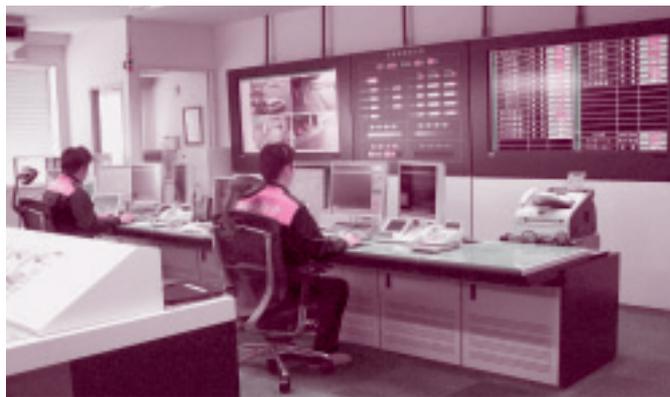
問い合わせ

収納課収納グループ ☎ 298-1111（内線172）

あわてないで「119番」 ～通報のポイント～

火災・救急は局番なしの119番

- 119番通報の際には、あわてないで通信指令室員の問いかけに従って話すことがポイントです。
- まず、「**火災・救急の別**」を伝えてください。



【火災や病院のお問い合わせ】
 火災、休日当番医の照会
 ☎029-295-8090
 （テレホンサービス）
 病院紹介、一般問い合わせ
 ☎029-295-2111

問い合わせ 消防本部通信指令室
 ☎295-2111

歯の教室・第1回・

乳幼児の むし歯と予防



瓜連中央歯科クリニック
 専門正徳 先生

きれません。感染年齢をできるだけ遅らせることが肝心です。**糖分**は虫歯菌の大好物で、細菌が糖分を取り込んでネバネバプラークを作り出します。このプラークの中で酸を作り出すために、歯が溶けて虫歯になります。一生懸命歯を磨いて、甘いものを我慢しても虫歯菌が多い人は、虫歯になりやすいものです。小さなときから歯磨きや正しい食生活習慣を身に付け、虫歯菌を少なくしておけば、甘いものを食べても虫歯になりにくいことがわかっていきます。虫歯菌を受け入れる**環境（歯）**があつて糖分を摂取し、一定以上の**時間**が経過するとうい条件が揃つて、はじめて虫歯になるのです。

虫歯の原因は「甘いもの」・「砂糖」だけと思つていませんか？それは大きな誤解です。虫歯を予防するためにはこうした誤解をなくし、歯について正しく「知る」ことが大切です。虫歯は**虫歯菌・糖分・環境・時間**の4条件が揃つてはじめて虫歯になります。

虫歯菌は生まれてきたときには、お口の中に住み着いていません。母子感染が多くを占めています。スプーンの上の熱い食べ物の「フー」が初期の感染です。もともと危険な時期は、1.5歳から2.5歳と言われています。ちょうど幼児食開始時期でしょうか？虫歯菌（特にミュータンス菌）から出されるネバネバは、パワーが強く歯磨きですべて落とす

唾液の量と質も虫歯のなりやすさに影響を与える環境因子です。普段のお口の中はPH7（中性）に近い弱酸性ですが、食べ物をお口に入れると酸性に傾きます。歯からミネラル分が溶けだし、「脱灰」と呼ばれ、PH5.5を超えることにより始まりま

す。口の中のPHは唾液の働きで中性に戻すことができますが、間食の回数や**時間**「ダラダラ食べ」をしていると、唾液の働きが間に合わず酸性の状態が長く続いて、虫歯になつてしまいます。甘いおやつは食事とセットにして、デザートとして「まとめ食べ」をしましょう。

平成24年度那珂市まちづくり出前講座をご利用ください！

問い合わせ

市民協働課市民活動グループ

☎298・1111(内線263・265)

まちづくり出前講座とは、市役所の仕事を市民の皆様にご覧いただくために、ご希望のテーマについて市の職員を講師として派遣する制度です。市内に在住、在勤または在学する10人以上のグループでしたら、どなたでもご利用いただけますので、下記「平成24年度まちづくり出前講座メニュー」をご参考の上、ふるってご利用ください。なお、利用方法等の詳細については、市民協働課までお問い合わせください。

【平成24年度まちづくり出前講座メニュー表】

分野	講座番号	講座名称 (テーマ)	説明内容 (概要)	担当	説明時間
① 市民との協働のまちづくり	1	協働のまちづくりの取り組みについて	市が進めている協働のまちづくりの基本的な方向性についての概要を説明します。	市民協働課 市民活動グループ	30分～ 60分
	2	男女共同参画について	那珂市男女共同参画プラン、啓発誌、パワーポイントなどを使って説明します。		50分
	3	身近な人権教育を考える	人権について考え、人権意識を高める学習を行います。	秘書広聴課市民相談室市民相談グループ、生涯学習課社会教育グループ	45分～ 60分
② 防災・防犯・交通安全	4	いざと言う時のために 応急手当を覚えよう	身近なところで起こる、けが・病気に対する応急手当を習得します。	消防本部警防課 警防グループ	60分～ 90分
	5	とっさの時の応急手当 (心肺蘇生法)を覚えよう	突然の心停止等に対する応急手当の習得およびAEDの使用方法を習得します。		3時間以上
	6	火災を防ぐ「あたりまえ」 を地域に！	住宅用火災警報器・消火器等について説明します。	消防本部予防課 予防グループ	60分
	7	地域での防災力の向上	自主防災組織の設立について説明します。	防災課 防災・防犯・交通グループ	30分
	8	自主防犯組織について	自主防犯組織の設立・活動の方法など、防犯の取り組みについて説明します。		30分
	9	悪質商法と対処法	悪質商法の内容とその対処について説明します。	環境課 消費生活センター	60分
③ 環境	10	ごみの分別・減量等について	ごみの分別・減量などについて説明します。	環境課 環境グループ	30分～ 60分
	11	地球温暖化防止について	地球温暖化防止計画の概要について説明します。		30分
④ 道路・建設	12	都市計画街路について	当市における都市計画街路の整備状況について説明します。	都市計画課 都市整備グループ	20分
	13	街づくりの進め方について	当市における街づくり事業の事例紹介について説明します。		30分
⑤ 上下水道	14	那珂市の公共下水道について	下水道のしくみ、宅地内の排水設備、受益者負担金、下水道使用料について、パンフレット等により説明します。	下水道課 工務・管理グループ、 業務グループ	45分
	15	那珂市の農業集落排水事業について	農業集落排水の汚水処理のしくみ、宅地内の排水設備、受益者分担金、農業集落排水使用料について説明します。		45分
⑥ 福祉・医療・健康・年金	16	生活習慣病予防講座	メタボリックシンドロームを中心に、生活習慣を改善する方法を学びましょう。	保健センター(保険課) 健康増進グループ	60分
	17	子どもの食事について	乳幼児期からの栄養について学びましょう。	保健センター(保険課) 母子保健グループ	60分
	18	子どもの健康づくりについて	子どもが健やかに育つよう、乳幼児期からの身体づくりについて学びましょう。		60分
	19	健やか親子那珂21計画について	那珂市の乳幼児の健康に関する現状と課題、重点的な取り組みについて説明します。		60分
20	子育て支援について	子育て支援事業の概要について説明します。	こども課 子育て支援グループ	40分	

分野	講座番号	講座名称 (テーマ)	説明内容 (概要)	担当	説明時間
⑥ 福祉・医療・健康・年金	21	幼児の発達と かかわり方について	乳幼児の食育・親子遊び等について説明します。	こども課 保育所、子育て支援センター	40分
	22	高齢者の福祉サービス	介護保険以外の高齢者施策について説明します。	介護長寿課 高齢者支援グループ	20分～ 30分
	23	障がい者のサービスについて	自立支援法によるサービスを含め、当市で受けられるサービスについて説明します。	社会福祉課 障がい者支援グループ	60分
	24	介護保険制度	介護保険制度の概要について説明します。	介護長寿課 介護保険グループ	45分
	25	国民年金について	国民年金の概要について説明します。	保険課 保険・年金グループ	30分
	26	国民健康保険について	国民健康保険の概要について説明します。		45分
	27	後期高齢者医療制度について	後期高齢者医療制度の概要について説明します。		30分
	28	地域包括支援センター	地域包括支援センターの業務内容について説明します。	介護長寿課 高齢者支援グループ	40分～ 60分
⑦ 教育・生涯学習・生涯スポーツ	29	那珂市の学校教育について	学校教育の基本方針と那珂市学校教育推進の柱について説明します。	学校教育課 指導室	30分
	30	特別支援教育体制について	特別支援に関する相談体制や就学相談について説明します。	学校教育課 学務・施設グループ	30分
	31	教育支援センターにおける相談体制について	いじめ不登校への対応や子育ての悩みの現状について説明します。	学校教育課 指導室	30分
	32	児童生徒の家庭における生活習慣の確立について	家庭学習の在り方や家庭生活の在り方について説明します。		30分
	33	いつでも、誰でも、気軽に立ち寄れる図書館	市立図書館の概要について説明します。	生涯学習課 図書館管理グループ	30分
	34	那珂市のスポーツ振興	スポーツ振興計画と各種教室について説明します。	生涯学習課 スポーツ推進室体育グループ	30分
⑧ 歴史・文化	35	那珂市の歴史と文化財	那珂市の古代からの歴史や、市内の指定文化財、遺跡などを紹介します。	生涯学習課 歴史民俗資料館歴史民俗グループ	60分
⑨ 産業・観光	36	那珂市の観光	那珂市の観光地の見所や、イベント等について紹介します。	商工観光課 商工観光グループ	30分
	37	那珂市の農業について	那珂市の農業振興や、農業の現状について説明します。	農政課 農業振興グループ	30分
⑩ 行政改革・財政・税金	38	那珂市総合計画	第1次那珂市総合計画の概要について説明します。	政策企画課 政策企画グループ	30分
	39	わが市の台所事情(財政)	那珂市の財政状況について説明します。	財政課 財政グループ	60分
	40	市民税・固定資産税のしくみ	市税に関する税制度を、資料を基にわかりやすく説明します。	税務課 市民税グループ、資産税グループ	60分
	41	那珂市の行政改革	那珂市の行政改革の取り組みを説明します。	行財政改革推進室 行革・監査グループ	60分
⑪ その他	42	陳情・請願の申請について	陳情・請願の申請手続き方法について説明します。	議会事務局 総務・議事グループ	10分
	43	選挙のしくみ	選挙についてやさしく説明します。	総務課 総務グループ	30分
	44	情報公開と個人情報保護	市の情報公開制度に基づく情報の開示と個人情報の保護について解説します。		30分

那珂市内の放射線量の測定状況をお知らせします

市内の小中学校、幼稚園、都市公園、保育所（園）、体育施設などで放射線量を測定しています。また、市ホームページにも掲載しています。

○小中学校、幼稚園

担当課および測定場所	測定値	測定日
学校教育課	本米崎小学校	0.103 3月6日
	横堀小学校・幼稚園	0.097 3月7日
	額田小学校	0.089 3月7日
	菅谷小学校	0.115 3月5日
	菅谷東小学校	0.097 3月6日
	菅谷西小学校	0.104 3月6日
	五台小学校・幼稚園	0.105 3月6日
	戸多小学校	0.121 3月6日
	芳野小学校	0.122 3月6日
	木崎小学校	0.097 3月7日
	瓜連小学校	0.118 3月7日
	額田幼稚園	0.100 3月7日
	菅谷幼稚園	0.085 3月6日
	菅谷西幼稚園	0.111 3月6日
	芳野幼稚園	0.088 3月7日
	那珂第一中学校	0.084 3月6日
	那珂第二中学校	0.101 3月7日
	那珂第三中学校	0.120 3月6日
	那珂第四中学校	0.084 3月7日
	瓜連中学校	0.108 3月7日
茨城学園	0.107 3月7日	
ナザレ幼稚園	0.071 3月7日	
さいせい幼稚園	0.119 3月6日	
大成学園幼稚園	0.088 3月7日	

○公共施設

担当課および測定場所	測定値	測定日
保健センター	保健センター(ひだまり)	0.092 3月7日
生涯学習課	中央公民館	0.110 3月8日
	図書館	0.102 3月8日
	那珂総合公園	0.119 3月7日
	歴史民俗資料館	0.129 3月7日
	ふれあいの杜公園	0.129 3月7日
市民協働課	ふれあいセンターよこぼり	0.116 3月7日
	ふれあいセンターごだい	0.125 3月7日
	ふれあいセンターよしの	0.117 3月7日
	総合センターらぼーる	0.105 3月7日
那珂聖苑	那珂聖苑	0.138 3月8日
都市計画課	中谷原公園	0.133 3月13日
	宮の池公園	0.113 3月13日
商工観光課	一の関ため池親水公園	0.103 3月8日
	静峰ふるさと公園	0.122 3月8日

○保育所、保育園など

担当課および測定場所	測定値	測定日
こども課	菅谷保育所	0.095 3月7日
	額田保育所	0.093 3月7日
	芳野学童保育所	0.114 3月7日
	かしま台保育園	0.113 3月5日
	瓜連保育園	0.103 3月7日
	ゆたか保育園	0.123 3月8日
	ごだい保育園	0.109 3月9日
	子育て支援センター	0.093 3月7日

- 測定値の単位は、すべて、マイクロシーベルト/時間です。
- 小中学校、幼稚園、保育所（園）は地表面から50cmの高さでの測定値で、公共施設は地表面から1mの高さでの測定値です。
- その他の高さの測定値はホームページをご覧ください。

【日常生活で少しでも放射線を少なくできる方法】

- 校庭・園庭などの屋外での活動後には、手や顔を洗い、うがいをする。
- 土や砂を口に入れないように注意し、口に入った場合には、うがいをする。
- 登校・登園時、帰宅時に靴の泥をできるだけ落とす。
- 土ぼこりや砂ぼこりが多いときは、窓を閉める。

問 那珂市役所 学校教育局 298-1111
 こども課 内線8276
 保健センター 内線252
 生涯学習課 内線531
 市民協働課 内線8282
 都市計画課 内線263
 商工観光課 内線355
 那珂聖苑 内線245
 ☎352-0073

市職員の人事異動

(課長補佐以上)

那珂市職員の人事異動(課長補佐以上)をお知らせします。

【行政改革推進室・監査委員事務局】
室長・事務局長 萩野谷康男/室長補佐(総括)・書記 加藤裕一

【企画部】
部長 木村利文 ■秘書広聴課 課長 川崎薫/課長補佐(総括) 高橋秀貴/課長補佐 会沢和代/課長補佐 片野弘道/市民相談室室長補佐 木内忠

■政策企画課 次長兼課長 関根芳則/主任企画員兼課長補佐(総括) 大部公男/課長補佐 小橋聡子/課長補佐 加藤裕一/副参事兼公共交通対策室長 阿久津英樹/室長補佐 松山達男

【総務部】
部長 吉原正夫 ■総務課 次長兼課長 宮本俊美/課長補佐 高安正紀/課長補佐 篠原広明 ■財政課 参事兼課長 平山俊夫/課長補佐(総括) 中庭康史/課長補佐 根本雅美 ■税務課 課長 車田豊/副参事兼課長補佐(総括) 平野美良 ■収納課 課長補佐 小橋洋司 ■瓜連支所 瓜連支所長 檜村孝之

【市民生活部】
部長 大森常市 ■市民協働課 主任

企画員兼課長補佐(総括) 綿引智/課長補佐 浅野和好 ■市民課 課長 加藤和民/課長補佐(総括) 関郁夫/課長補佐 青山ちとせ ■環境課 課長兼消費生活センター所長 中山悦男/課長補佐(総括) 小澤祐一/課長補佐 柏正裕 ■防災課 危機管理監兼課長 城宝信保/課長補佐(総括) 寺山修一/課長補佐 大森信之/課長補佐 玉川一雄

【保健福祉部】
■社会福祉課 次長兼課長 小田倉正美/主任企画員兼課長補佐(総括) 桐原浩彰/課長補佐 高島浩一 ■こども課 課長 園部勢津子/課長補佐(総括) 兼家庭児童相談室長 大内幸志 ■介護長寿課 課長 野上隆男/副参事兼課長補佐(総括) 肥田朋子/課長補佐 中井川一恵 ■保険課 課長 檜村武/副参事兼課長補佐(総括) 大沼善則/保健センター所長 菊池正明

【産業部】
■農政課 次長兼課長 倉持和彦/主任企画員兼課長補佐(総括) 佐々木恒行/課長補佐 飛田良則 ■商工観光課 課長補佐(総括) 篠原英一

【建設部】
部長 小林正博 ■土木課 次長兼課長

岡崎隆/主任企画員兼課長補佐(総括) 石井亨/課長補佐 箕川寛/課長補佐 今瀬博之/用地室長(兼土地開発公社事務局長) 箕川一男/室長補佐(兼土地開発公社事務局次長) 江口加津代/室長補佐 平野正行 ■都市計画課 課長 助川保彦/課長補佐(総括) 小泉正之/課長補佐 澤島克彦 ■建築課 課長 檜村悦雄/課長補佐(総括) 畔野啓次/課長補佐 玉川秀利/課長補佐 平野敏

【上下水道部】
部長 武田國嗣 ■下水道課 次長兼課長 佐藤隆一郎/主任企画員兼課長補佐(総括) 大内勝美 ■水道課 課長 石川裕/副参事兼課長補佐(総括) 引田克治

【会計課】
会計管理者兼課長 鹿志村貞/課長補佐 片岡祐二

【議事事務局】
事務局次長 深谷忍/事務局次長補佐 渡辺莊一

【農業委員会事務局】
参事兼事務局長 宮本一/事務局長補佐(総括) 青山泰士

【教育委員会】
教育次長 中井川和 ■学校教育課 参事兼課長 檜山英夫/主任企画員兼課長補佐(総括) 小林幸夫/菅谷幼稚園副園長 林喜代美 ■生涯学習課 課長補佐(総括) 笹島邦義/課長補佐 茅根政雄/スポーツ推進室長 成

田節男/室長補佐 先崎民夫/課長補佐(総括) 兼歴史民俗資料館副館長 檜山寿夫

【消防本部】
■総務課 副参事兼課長補佐 増子正行 ■警防課 次長兼課長 萩野谷孝 ■東消防署 参事兼署長 加藤豊/副参事兼副署長 後藤洋治/副参事兼副署長(消防司令長) 笹島茂 ■西消防署 参事兼署長 海老澤幸男

(※当直司令以上のみ記載)

【新規採用】
海野敦子/竹林隆太/古茂田勇太郎/寺門佑香/寺山啓太/畠山智光/津澤拓也/上金恵美/須貝浩美/西村奈津希/菊池幸/松本雅勝/道口峻司/篠原将/松田繁美/根本まなみ

【退職者】(3月31日付)
勝山栄(総務部長) /磯崎芳信(建設部長) /清水昭彦(上下水道部長) /澤畑寿一(教育次長) /佐藤守(総務部参事兼瓜連支所長) /宮本芳樹(上下水道部参事兼水道課長) /笹島正一(会計管理者兼会計課長) /萩野谷光正(産業部参事兼農業委員会事務局局長) /木内政弘(市民生活部危機管理監兼環境安全課長兼消費生活センター所長) /土田和美(財政課運転手) /叶野和子(会計課課長補佐) /澤畑瑞子(総務部収納課主査) /黒澤清香(会計課主査)

29 広報なか4月号

子どもたちの幸せと健康の願いを込めて



■ 雑飾りに囲まれての演奏 (右) ■ ナカマロちゃんも会場でお出迎え (上)
 ■ 多くのかたが訪れた曲がり屋 (左上)
 ■ 中央公民館に飾られた雑飾り (左下)



3月3日、毎年恒例の「雛のつるし飾りまつり」が、女性ネットワークなかおよび雛のつるし飾り実行委員会主催により、曲がり屋・一の関ため池親水公園などで開催されました。

会場のつるし飾りは、市民の皆さんの手づくりのぬくもりを感じさせる飾り物。春の訪れを告げる華やかなつるし飾りは、ところ狭しと飾られるとともに、武藤元久さん・まさ江さんご夫妻(額田東郷)による琴・尺八の調べで皆さんを出迎えました。

また、ゆずの里かおり村や那珂湊漁協女性部、各女性団体による出店や、ひまわり大使「ナカマロちゃん」も会場を盛り上げ、訪れた皆さんそれぞれに桃の節句を楽しんでいました。

美味しいほしいものPRに



1月26日に茨城ほしいもの対策協議会では、ほしいもの一層の品質向上と産地発展を図るため「ほしいもの品評会」を開催し、那珂支部の小田内一郎さん(向山)が泉13号の部で奨励賞を受賞し2月29日、報告と美味しいほしいものPRに訪れました。

品評会では、糖度測定や味・色・形などの審査や消費者投票による審査が行われました。那珂支部では小田内さんは初の受賞者となりました。

交通安全はみんなの願い



瓜連小学校で3月8日、交通安全教室が開催され、6年生が茨城県交通安全教育講師から自転車の正しい乗り方を学びました。事故に結びつくポイントを身をもって一つひとつ熱心な指導に、子どもたちは真剣な表情。那珂警察署、那珂市民間交通安全指導員、那珂地区交通安全母の会瓜連支部の皆さんの協力を得ながら、自転車の安全な運転方法を学び、4月からの中学校生活に備えました。

作業奉仕でまちづくり

公園裏山が、大雨で被害を受け崩壊か所がみつきり、放置すると市道まで崩れ交通の妨げになるため、白河内自治会の皆さんは2月12日、公園裏山の崩壊か所の補修を行いました。作業には、15人が参加し、銅管を切



■作業奉仕された
白河内自治会の皆さん

断し杭を作製。崩壊か所の斜面3段に杭を打ち込みガードレールを取り付け、サツキの植樹等をして崩壊防止対策をしました。作業奉仕活動により、安心して道路の通行ができるようになりました。



■補修された崩壊か所

協働のまちづくり推進フォーラム

3月10日、中央公民館で協働のまちづくり推進フォーラムを開催しました。

常磐大学コミュニティ振興学部長の井上繁教授を講師に迎えて「環境・防災・高齢者」をキーワードに、これからのまちづくりについての基調講演が行われたほか、市民活動団体や自治組織の先進団体事例発表では、すでに市内に広がりつつある協働の取り組みに、多くの参加者が興味深く耳を傾けていました。



みんな一緒に春のウォーキング



3月11日、戸多地区まちづくり委員会では水戸観梅ウォークが実施され、52人の参加者は善重寺（水戸市酒門町）から田鶴鳴梅林（偕楽園）間、往復約8kmの道のりを歩きました。参加された皆さんは、世代を超えた交流を図りました。最終到着点の田鶴鳴梅林では、全コースを歩き切った達成感にあふれ、それぞれ持ち寄った手作りのお弁当を広げ春のウォーキングを満喫しました。

大震災から1年 地域の絆を深める

東日本大震災からちょうど1年となる3月11日、平野コミュニティセンターで平野三世代交流会・防災体験会が行われました。消火器の取り扱い訓練や模擬火災煙を体験して防災意識を高めたとともに、餅つき、けんちん汁、本格手打ちそばなど、皆さんが腕をふるった料理でお腹を満たすと、輪投げ、似顔絵、カラオケ大会、ベリィダンス、ビンゴ大会などの多彩な催しを楽しみ親睦を深めました。



民家で雛のつるし飾り展示

3月18日から24日まで、地域のかたがつつくった雛のつるし飾りを地域のかたに見ていただくとうと、小貫恵美子さん宅（下江戸）の和室2間に、雛のつるし飾りが展示されました。室内には、雛のつるし飾りのほか、ねぶた等が華やかに飾られ訪れたかたの目を楽しませました。また、雛のつるし飾り（さるぼぼ、ひまわり）の体験教室も実施され和やかな一日を楽しみました。



＊ 国保ミニ情報 ＊

- 那珂市国保の加入者数 15,703人
（平成24年2月末現在・前月比13人減少）
 - 那珂市国保が医療費の一部として支払った金額 3億750万円
（平成24年2月・前月比826万円減少）
- ※皆さんの日頃の健康づくり、病気予防の心がけが医療費の増加、ひいては国保税の増額を抑えることにつながります。ご協力をお願いします。

**那珂市民吹奏楽団
クリスマスコンサート**



第3回那珂市民吹奏楽団クリスマスコンサートが12月23日、総合センターらぼーるで開催されました。今回のコンサートは那珂四中吹奏楽部と合同での演奏となり、ホワイトクリスマス曲、ホルスト第1組曲、演歌メドレー等を披露しました。

**ご協力ありがとうございます
善意銀行へ**

2月15日～3月14日（敬称略）

匿名	5,000円
匿名	3,000円
(株)ソニー DADCジャパン	6,319円
綿引 大	100,000円
野木 利三郎	10,000円
JAひたちなか那珂瓜連直売所	14,956円

※善意銀行の寄付は、那珂市社会福祉協議会でお受けしています。
☎298-8881

＊ 今月の納税 ＊

○介護保険料（普通徴収） 1期

納期限：5月1日

■市税の納付は口座振替で

市税の納付には、便利で確実な口座振替制度がありますので、どうぞご利用ください。

詳細については、下記までお問い合わせください。

問い合わせ／収納課収納グループ
☎298-1111 内線174・175

＊ 人の動き ＊

那珂市の人口（3月1日現在）

※（ ）内は前月比

男	27,495人	（ 0）
女	28,364人	（-11）
計	55,859人	（-11）
世帯数	21,092世帯	（+14）

- 出生 34人
 - 死亡 55人
- （2月1日～29日）

図書館カレンダー

5月

May

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

休館日

●市役所の電話番号
☎298-1111 (代表)

●ホームページ URL
http://www.city.naka.lg.jp

●メールアドレス
hisho-k@city.naka.lg.jp

●おしらせ版
市では、「広報なか」のほかに、「おしらせ版」(月2回)を発行しています。このコーナーではその一部を掲載していますが、「おしらせ版」も併せてご覧ください。

那珂市民憲章

わたしたち那珂市民は、那珂・久慈の清らかな流れと豊かな緑に恵まれた郷土を愛し、市民としての誇りを持ち、明るく住みよいまちをめざします。

- 一 すこやかな心と体をつくりましょう
- 一 伝統を大切にし教養をふかめましょう
- 一 助け合い思いやる心をもちましょう
- 一 きまりを守り安全を心がけましょう
- 一 自然を愛し資源をいかしましょう

心配ごと相談

日時/5月2日(水)、9日(水)、
16日(水)、23日(水)、
30日(水)

いずれも9:00~15:00

場所・問い合わせ/
那珂市社会福祉協議会(総合保健福祉
センター「ひだまり」内) ☎298-8881

高田俊幸さん(津田)が 市に寄付



2月27日、高田俊幸さん(津田)が、市に100万円を寄付されました。

常陸太田市出身の高田さんは、今年で那珂市に移り住んで30年となり、「長年お世話になった那珂市に恩返しをしたい」として寄付をいただきました。

コメリ災害対策センターと 災害時の物資供給に関する 協定を締結



那珂市は、3月28日に、「NPO法人コメリ災害対策センター」と、災害時における物資供給に関する協定を締結しました。

濱里豪さん(堤)が 海外ボランティアとして派遣



3月13日、(独)国際協力機構(JICA)から青年海外協力隊員として派遣される濱里豪さん(堤)が、海野市長を訪問しました。

濱里さんは、カンボジアのスパイリエン大学へ配属され、現地の学生にコンピュータ技術の講義や、ネットワークの構築を行う予定です。

濱里さんは「国際交流と、スパイリエン州の地元で仕事ができるように、技術提供を行えるような活動をしたいです」と抱負を語ってくださいました。

ひたちなか農業協同組合が 交通安全帽子を寄贈



3月21日、ひたちなか農業協同組合から交通安全帽子490個を寄贈いただきました。

通学する子どもたちの安全のために役立ててほしいとしていただいたこの帽子は、新入学児童全員に配布されました。

5月の休日当番医

- | | | | |
|-----|----------------------|------|-----------|
| 3日 | 小豆畑病院 | (菅谷) | ☎295-2611 |
| 4日 | なかむら内科・
泌尿器科クリニック | (飯田) | ☎353-2310 |
| 5日 | ののがき脳神経外科クリニック | (中台) | ☎352-0555 |
| 6日 | かぼちゃクリニック | (横堀) | ☎352-1107 |
| 13日 | ルリア記念クリニック | (中里) | ☎296-3333 |
| 20日 | 諸岡医院 | (瓜連) | ☎296-1123 |
| 27日 | 瓜連慶友整形外科 | (古徳) | ☎296-1116 |

■診療時間/9:00~11:30
※受診の際、必ず当該医療機関へ電話で問い合わせください。
※診療時間外は、「茨城県救急医療情報コントロールセンター」(☎241-4199)、または「那珂市消防本部」(☎295-2111)へお問い合わせください。

法律相談

日時/5月8日(火) 13:00~17:00
22日(火) 13:00~16:00

場所/市役所(本庁) 1階 市民相談室
相談員/弁護士

申込方法/事前に次まで予約してください。

申し込み・問い合わせ/
秘書広聴課市民相談グループ
☎298-1111 内線117

善行青少年を表彰しました

3月3日、平成23年度那珂市「善行青少年健全育成のつどい」が総合センターらぼーるで開催され、地域のかたから推薦を受けた、善行のあった青少年を表彰しました。表彰者は次のとおりです。（敬称略・学年は3月末現在）

【温かい思いやりのある行動】

- 横堀小学校4年1組（35人） 代表 佐藤那美
- 菅谷東小学校福祉委員会（16人） 代表 長谷川未優
- 小林開道（五台小2年）、宇田川愛実（五台小4年）、小林来夢（同）、寺門智宏（戸多小5年）、千葉凌平（那珂一中2年）、鬼澤健人（那珂三中1年）、黒木恵理奈（同）、清水明日香（同）、高畑葉月（同）、仲田水紀（同）、古橋侑季（同）、桐原雪花（那珂三中2年）、綿引康（同）、成田匠（那珂三中3年）、綿引健二朗（同）、磯邊岳晃（那珂四中1年）、磯邊宥海（同）、加藤咲良（同）、後藤優香（同）、石川凌士（那珂四中2年）、梶山聖人（同）、堅野美梅（同）、菊池終汰（同）、佐藤夏帆（同）、椎名大成（同）、谷川友理（同）、中村麗奈（同）、山田柁（同）、渡邊樹奈（同）、磯崎美波（那珂四中3年）、折原杏佳（同）、金子美優（同）、木村紅葉（同）、黒澤理紗（同）、後藤捺美（同）、仲田ひなの（同）、関毬未（同）、高岡晴菜（同）、田村まゆ（同）、手塚紗莉（同）、友部ひかり（同）、中川萌（同）、古川千遥（同）、吉田恭子（同）、阿部寛生（善行当時那珂二中3年）、大谷香純（同）、鯉渕誠也（同）、櫻井元羽（同）、生田目響（同）、根本優介（同）、寺山未来也（善行当時那珂三中3年）、林竜雅（同）
- 【地域社会をきれいにする行動】
- 浅野秀喜（那珂二中2年）



Cook



ヘルスメイトさんが作る健康料理⑨

シシャモの南蛮漬け

今月のヘルスメイトさん



那珂市食生活改善推進員
連絡協議会

萩野谷順子さん

瓜連（運動・休養部会）

■コメント

コレステロールの気になるかたは卵のない雄魚を使うか、ワカサギに代えてみてはいかがでしょうか。

■作り方

- ①玉ねぎを薄くスライスし、にんじんは5mm幅くらいのたんざく切りにする。唐辛子は種を除き、小口切りにする。
- ②①とAの調味料を鍋に入れ、ひと煮立ちさせ、漬け汁とする。
- ③シシャモに片栗粉を薄くまぶし、サラダ油でこんがり焼く。
- ④焼きあがったシシャモを②に漬け込む。
- ⑤付け合せの大根を極細い千切りにする。水菜は3cmの長さに切り、一緒に水にはなし、パリッとさせる。
- ⑥皿に⑤をこんもりと盛り、シシャモをのせ漬け込んだ野菜、漬け汁もかける。彩りにミニトマトを飾る。

■材料（4人分）

- | | | | | |
|-------|------|-----|------|--------|
| シシャモ | 8尾 | A { | 酒 | 大さじ2 |
| 玉ねぎ | 1/2個 | | みりん | 大さじ1.5 |
| にんじん | 50g | | しょうゆ | 大さじ2 |
| 唐辛子 | 1/2本 | | 酢 | 大さじ2 |
| 大根 | 150g | | 片栗粉 | 適宜 |
| 水菜 | 小1株 | | サラダ油 | 大さじ1 |
| ミニトマト | 4個 | | | |



【川柳】那珂川柳会 植木利衛選

旅立ちの我が娘の背な花吹雪
祖父送る寺のさくらも満開に
花吹雪金魚すくい肩に舞い
土おこし桜花舞うな耕運機
就職を祝うワインも桜色
スキップは桜並木がよく似合う
バスツアー桜前線追いかける
カラオケを担ぎ上げて花の山

岡村 恆子
菊池 よし江
小森 友子
高橋 昌也
田尻 美代子
丹能 永子
横須賀 千恵子
植木 利衛

課題「桜・祭り」

【短歌】白鳥短歌会

太陽の温もりたんと溜めこめるバラの花咲く布団に早寝す
紅の葉を散り終えしもみじ木の朱き細枝を風が揺すれり
雪見つづ露天の風呂に寤げば心の白くなるを覚ゆる
あさはふる東風吹く岸に下り立ちてスケッチしたり水戸のビル群
帯布を返して張って縫い合わせ女雛男雛の形になしたり
農を継ぐ子のなきままに整地なし広がる畑に草のはびこる
はは亡くし血まみれになる子猿観て泪溜めいる二歳の孫女
城跡の堀底道を歩むときひたすら走る兵の思ほゆ
手入れなき多くの山に錦蛇まがひの藤の年ごとに増ゆ

赤塚 満夫
波辺 知英子
池田 美代子
夷針 利理子
大森 勝代
大森 満
仲沢 照美
草野 豊
加藤 要

戸籍のまど

2月15日～3月14日届出

(敬称略)

おめでた

住所	出生児氏名	届出人
本米崎	岩間 玲奈	裕喜
菅谷	関 蒼汰	祐也
後台	藤野 花音	英紀
中里	石崎 日向子	亨
杉	大森 彩琉	博
鴻巣	小澤 風煌	卓也
中台	増子 結心	雅博
菅谷	萩谷 侑禾	浩司
額田南郷	成田 萌衣伽	明人
菅谷	环 董翔	勝幸
菅谷	五位 史帆	耕一
菅谷	江原 大陽	元樹

おくやみ

住所	氏名	年齢
菅谷	藤咲 もも	智紀
豊喰	山田 雄介	浩隆
菅谷	赤津 啓吾	勝弘
中台	伊澤 はる奈	丈晴
津田	大山 未菜美	研二
津田	神 愛姫	文明
南酒出	飯島 実桜	敬一
菅谷	萩野谷 禮胤	昌好
菅谷	大森 海響	啓史
津田	津田 伊山	あさ
古徳	大久保 文子	90歳
戸	助川 みよ子	74歳
福田	高橋 茂夫	76歳
鴻巣	咩野 敏子	81歳
瓜連	滑川 せつ	92歳
額田東郷	嘉成 いく	82歳

住所	氏名	年齢
額田東郷	草野 すみ子	68歳
菅谷	石川 ぬぎ	96歳
門部	田口 實	85歳
南酒出	袴塚 こまつ	91歳
戸	渡邊 みつ	104歳
下大賀	寺門 多賀子	63歳
福田	高橋 ヒサ子	88歳
鴻巣	古谷 克己	89歳
菅谷	横山 信雄	80歳
中台	古山 時子	60歳
鴻巣	島根 トシ子	80歳
鴻巣	海野 二郎	64歳
南酒出	稲田 たか子	83歳
横堀	中庭 輝久	67歳
菅谷	菊池 濱夫	90歳
豊喰	上金 一朗	77歳
戸	柳橋 弘	90歳
額田南郷	瀬谷 光子	69歳
中里	萩野谷 志も	95歳
堤	澤畑 壽男	95歳

※このコーナーは、市民の皆様から届出があったもののうち、掲載を希望されたかたのみ掲載しています。



住所	氏名	年齢
西木倉	山田 好男	87歳
南酒出	稲田 正雄	81歳
額田東郷	和知 勲	71歳
飯田	小田倉 力	76歳
平野	後藤 わぐり	81歳
平野	添田 稔	64歳



小澤菜留美さん(17歳) 向山

わやかさん 85

生まれた時からいつもそばに犬がいて、子どもの頃から子犬にミルクをあげたりと、犬と一緒にいるのが当たり前の生活を送ってきました。
私は「おととや」でホールのアルバイトをしています。仕事で疲れた時でも、家で待つ動物たち(犬2匹、猫1匹など)と一緒にいるだけで癒され、元気を与えてくれます。
家で元気に暮らしている動物は皆、衰弱して死にかけていた子猫や、病気

動物たちと幸せに暮らしたい

にかかっていた老犬など捨てられていました。そんなかわいそうな動物たちでも最後は幸せでいられるようにと、家族同様に大切にしています。
動物を飼うことは別れもあり、命の尊さを教えられました。早く異変に気づき、的確な判断があればもっと長生きできたのではないかと思います。健康管理には最も気を使っています。多くの知識を身に付けるため、動物看護師になること。それが私の夢です。

HAPPY BIRTHDAY!!



はじめてのたんじょうび

ご家族からのメッセージ



お姉ちゃん、お兄ちゃんと
ずっと仲良くね



ねねか
玉井寧々花ちゃん 2/8 生まれ
父・雄三さん 母・美佳さん(東木倉)

これからもかわいい
晃ちゃんできてね!



こうすけ
宮田晃佑くん 2/21 生まれ
父・英明さん 母・あらたさん(菅谷)

これからも
元気いっぱい育ててね!!



ゆらと
鈴木結空湊くん 2/25 生まれ
父・博之さん 母・美香さん(杉)

表紙の裏側

芳野幼稚園で行われた第43回卒園式の様子です。幼稚園を巣立つ23人の卒園生の皆さんは、自分の名前を呼ばれると元気よく返事をして立ち上がり、保育証書を受け取っていました。卒園生の皆さんの堂々とした姿からは、幼稚園での生活をとおしての成長がうかがえました。(3月16日)

ヘルスメイトさんが作る健康料理



※レシピは34ページに記載